記者発表資料

平成２０年度予算概算要求に関する
東北地方整備局の事業概要

平成１９年８月２９日

東 北 地 方 整 備 局

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局
（港湾空港関係以外）TEL　022-225-2171（代）
（港 湾 空 港 関 係）TEL　022-716-0005（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

総　　括：企画部　企画課長	河村（かわむら）　英知（ひでとも）	（内線 3151）
	携帯　090-3367-0320	
都 市 ・ 住 宅		
公 園 関 係：建政部　都市・住宅整備課長	堂薗（どうぞの）　洋昭（ひろあき）	（内線 6161）
	携帯　090-7939-6118	
河 川 関 係：河川部　河川計画課課長	尾藤（びとう）　文人（ふみと）	（内線 3611）
	携帯　090-3125-0988	
道 路 関 係：道路部　道路計画第一課長	大江（おおえ）　真弘（まさひろ）	（内線 4211）
	携帯　090-3123-6948	
港湾空港関係：港湾空港部　港湾計画課長	正岡（まさおか）　孝（たかし）	（内線 6311）
	携帯　090-4315-6429	
営 繕 関 係：営繕部　計画課長	山北（やまきた）　孝治（こうじ）	（内線 5151）
	携帯　090-3121-4665	
用 地 関 係：用地部　用地第一課長	菅原（すがわら）　晋也（しんや）	（内線 4751）
会 計 関 係：総務部　会計課長	森田（もりた）　泰生（やすお）	（内線 2411）

目　　次

１．　平成２０年度予算概算要求に関する基本方針　・・・・・　１

２．　平成２０年度の主な予定事業　　・・・・・・・・・・・・・　６

３．　概算要求に関する主要事業　　・・・・・・・・・・・・・・　８

４．　県別の主要事業　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３

参考．新潟県中越沖地震 緊急災害対策に伴う技術者派遣　・・３５

１．平成 20 年度予算概算要求に関する基本方針

東北地方整備局は、平成 19 年 6 月 19 日付けで閣議決定された「経済財政改革の基本方針 2007」及び「これからの重点政策～次の世代に引き継ぐ国土づくり・くらしづくり（平成 19 年 8 月：国土交通省）」を踏まえ、社会資本整備に係る東北地方の将来の姿を見据えて、計画的かつ着実な社会資本整備を目指します。

安全で安心できる地域づくり

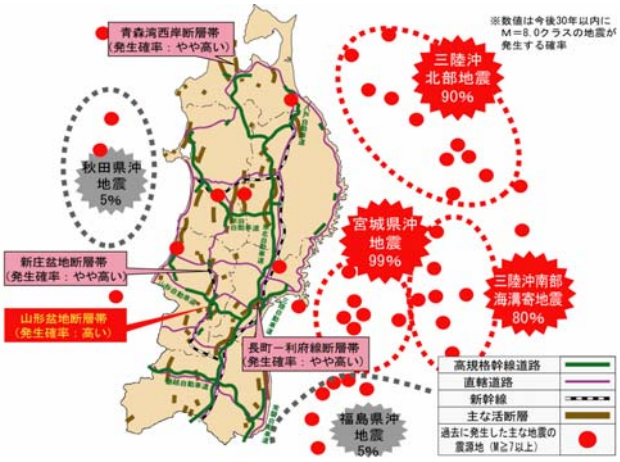
Ⅰ．大規模地震・津波への備え

宮城県沖・三陸沖南部海溝寄り領域では、今後３０年の間にマグニチュード７．５～８前後の海溝型地震が８０％～９９％の確率で発生する可能性があるとの評価がなされている（２００７年１月　政府地震調査研究推進本部公表）。

今年７月、気仙沼市と石巻市を会場に、この大規模地震を想定した「大規模津波防災総合訓練（国土交通省主催）」を実施した。5500 名の市民と約６０の関係機関が訓練に参加し、官民一体となって実践さながらのシミュレーションにより大地震への備えを行った。

東北地方整備局ではこの災害リスクに対応した「橋梁の耐震化」を平成１９年度までに完了させる。また、**平成20年以降は「津波対策」「社会資本施設の耐震化」「都市防災」「緊急輸送道路の確保」について重点的に整備**を図る。

東北地方の過去の主な地震と今後予想される大規模地震



▲出典：地震調査研究推進本部（文部科学省）



▲写真：実践さながらの訓練（気仙沼会場）

具体的な津波対策としては、**北上川下流及び鳴瀬川の水門等35施設で逆流防止の補助ゲート設置やゲート開閉の遠隔化**及び**釜石港湾口防波堤整備を平成20年度までに完了**させる他、早い段階で津波情報を受けられる**GPS波浪計の整備**を順次進め「情報提供の高度化」を図る。

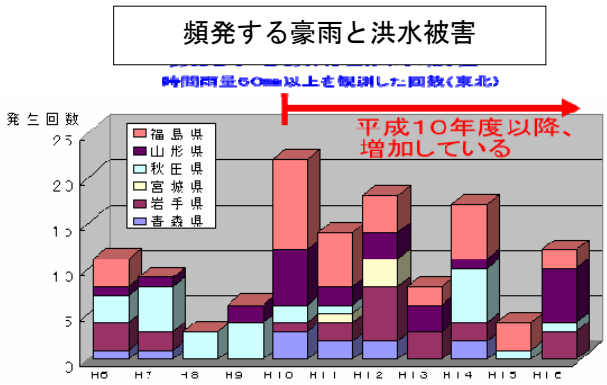
また、**三陸縦貫自動車道　桃生登米道路（9．6km）を平成20年度まで、同　宮古道路（4．8km）を平成21年度までに供用**させ、**「緊急時の物資輸送や代替路、救急医療活動の支援」**を図る。

Ⅱ．自然災害への備え

近年の頻発する集中豪雨による河川氾濫・土砂災害への備えとして、河川、ダム、砂防、海岸事業を進める。

具体的な治水対策としては、**平成20年度 津軽ダムの本体建設工事に着手**する。

また、洪水時に破堤等の危険性が高い堤防 4.07ｋｍについて対策を実施する**堤防質的整備を平成19年度～平成21年度の概ね3箇年程度で完了**させる。



▲資料：東北地方整備局

Ⅲ．日常生活における安全・安心対策の強化

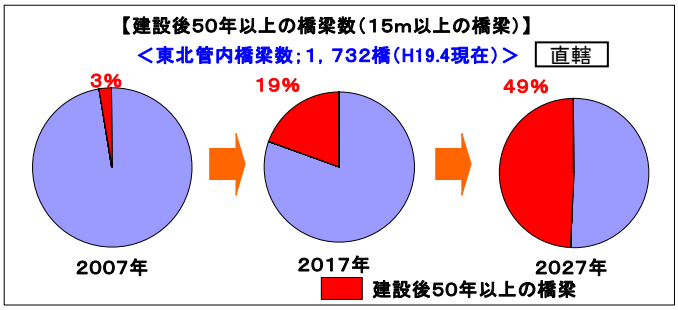
米ミネアポリスで発生した橋崩落のニュースは、日常生活の中で起こりうる事象として、多くの国民に不安を与えた。

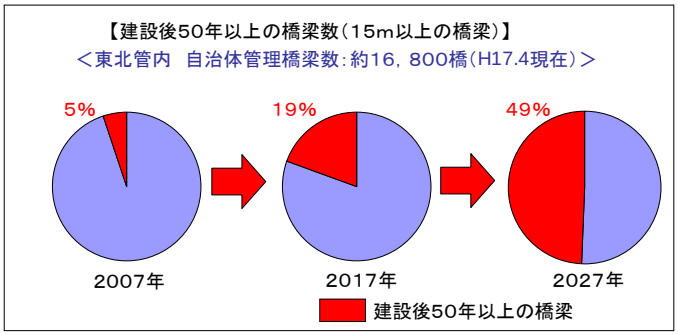
現在、東北地方整備局管内における直轄管理橋梁のうち供用後５０年以上経過する橋梁は、約３％であり、１０年後には約１９％、２０年後には、約４９％と加速度的に増加し、高齢化する道路ストックへの対応が喫緊の課題となっている。

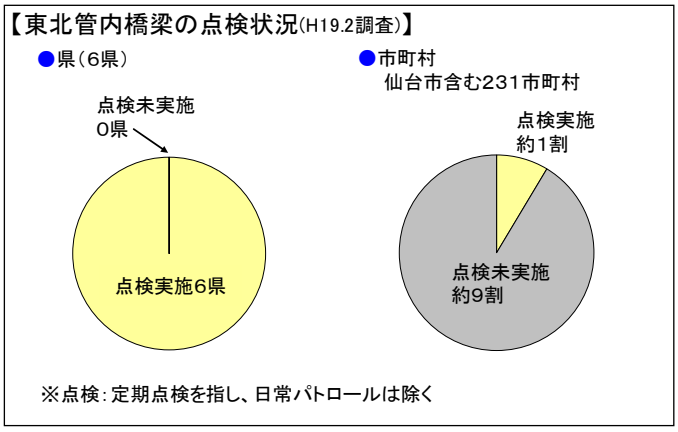
直轄管理橋梁は、5年に1回の定期点検を実施することにより橋梁の健全度を把握して劣化の進行を予測し、損傷の程度が軽い段階で的確かつ効率的な修繕を実施する。

また、自治体管理橋梁も供用後５０年以上経過する橋梁は、２０年後に直轄と同様に約４９％に達する。自治体の予算や技術者不足などにより、特に市町村管理の橋梁は、約９割の市町村で点検されていない状況となっている。

そのため、**各自治体が従来の事後保全から予防保全への転換を円滑に行うための財政的、技術的支援**を行う。







あわせて、死傷事故が多い**「交差点の改良」**や通学児童が安心して歩ける**「歩道の確保」**などを実施する。

Ⅳ．雪に強く安全で快適な地域づくり

雪によるくらしの障害を軽減するための「**流雪用水導入事業**」を進めるとともに、雪崩や地吹雪などによる冬期交通の障害を克服するための「**雪崩予防柵等**」の整備を実施する。

Ⅴ．ユニバーサル社会の実現

２０３５年の東北地方の老年人口は、６県とも全国平均を上回る推計結果となっている。

また、年少人口割合も青森、宮城、秋田で全国平均を下回っている。特に秋田県の老年人口割合は４０％を超え、全国一の高齢化県となる。

このため秋田県では、一人住まいの高齢者や子育て中の母親等が孤立しないよう「**見守り・見守られる空間づくりに配慮した県営住宅**」を建築し、平成２０年度に２０戸を完成させる。

東北の将来人口推計

（%）

	老年人口割合		年少人口割合	
県　名	2005年	2035年	2005年	2035年
青　森	22.7	38.2	13.9	9.2
岩　手	24.6	37.5	13.8	9.8
宮　城	20.0	33.8	13.8	9.5
秋　田	26.9	41.0	12.4	8.7
山　形	25.5	36.3	13.7	10.3
福　島	22.7	35.5	14.7	10.5
全　国	20.2	33.7	13.8	9.5

▲出典：国立社会保障・人口問題研究所

また、「**歩道のバリアフリー化と電線類の地中化**」により誰もが安心して歩ける歩道空間を確保する。

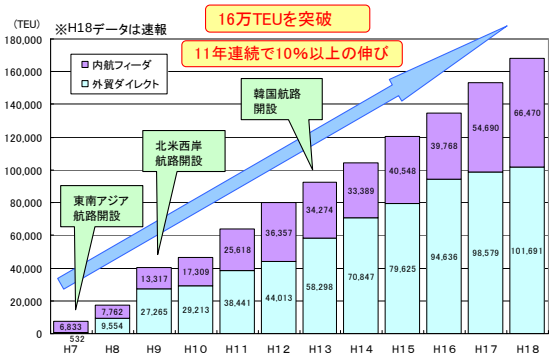
強い東北の創造

Ⅰ．グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備

東北地方の自立した産業の発展を支え国内外との物流システムの強化を図るため、国際物流に対応した道路ネットワークの構築や、船舶の大型化に対応した多目的国際ターミナルの整備を図る。

具体的には、**大船渡港永浜地区の国際ターミナル整備事業、仙台東部道路の仙台港IC（仮称）を推進**する。

仙台塩釜港のコンテナ取扱量



▲資料：東北地方整備局

Ⅱ．地域間の交流・連携の強化、広域的な生活圏の形成

産業の立地・振興、高度医療施設へのアクセス向上など、経済と暮らしを支える幹線道路ネットワークの整備を図る。

具体的には、**三陸縦貫自動車道　高田道路（3．4km）、一般国道289号　甲子道路（5．9km）を供用**させる。

美しい東北の実現

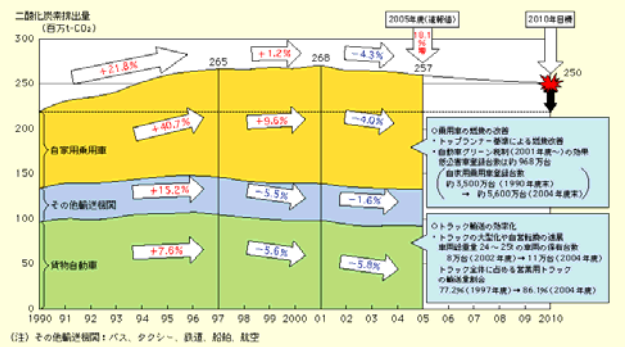
Ⅰ．低炭素社会の構築

国全体のＣＯ$_2$排出量の２割を占める運輸部門は、自動車に起因するものが排出量の９割を占めている。

このため道路政策におけるＣＯ$_2$削減プログラムに基づき、交通渋滞の緩和施策などの取組を重点的に実施する。

具体的には、平成２０年度に**一般国道13号福島西道路を全線供用**させ、ＣＯ$_2$排出量を年間 12,400t 削減させる。

運輸部門におけるＣＯ$_2$排出量の推移



▲出典：国土交通白書２００７

また、**効率住宅･建築物の省エネ性能の向上施策**などにより地球温暖化防止対策を強化する。

Ⅱ．自然環境との共生

生態系の保全に配慮しながら、自然との共生・調和を目指した社会資本整備を図る。

具体的には、**名取川藤塚地区直轄河川改修事業、一般国道7号　青森環状道路（4．4km）の整備**を推進する。

Ⅲ．循環型社会の構築

整備の遅れている下水道事業で、**低コストで早期に整備を図る手法（露出配管や河川護岸の占用など）**により、下水道処理人口普及率を向上させ、公共用水域の水質保全を図る。

また、**海水熱利用によるエネルギー効率の向上（融雪対策）**により、クリーンエネルギーの活用を推進する。

Ⅳ．観光振興・交流拠点の整備

観光立国推進基本計画に揚げられた目標達成に向け、東北の豊かな自然・歴史・文化などを実感できる個性的なまちづくりや観光交流拠点の整備を図る。

具体的には、平成２０年の世界遺産登録に向けた「平泉」周辺のまちづくり支援として、遺跡保存のための堤防ルートの変更や、景観に配慮した道路整備を進める（平泉バイパス：平成１９年度供用）。

また**「一関地区水辺プラザ」を平成20年までに完成**させる。

近年、観光入れこみに大きく貢献している**「道の駅」「みなとオアシス」**の整備について引き続き支援する。

観光立国推進基本計画の目標
（平成１９年６月　国土交通省）

①訪日外国人旅行者数
【平成 18 年：733 万人】→【平成 22 年までに 1,000 万人】

②我が国における国際会議の開催件数
【平成 17 年：168 件】→【平成 23 年までに 5 割以上増】

③日本人の国内観光旅行による１人当たりの宿泊数
【平成 18 年度：2.77 泊/年】→【平成 22 年度までに 4 泊/年】

④日本人の海外旅行者数
【平成 18 年：1,753 万人】→【平成 22 年までに 2,000 万人】

⑤国内における観光旅行消費額
【平成 17 年度：24.4 兆円】→【平成 22 年度までに 30 兆円】

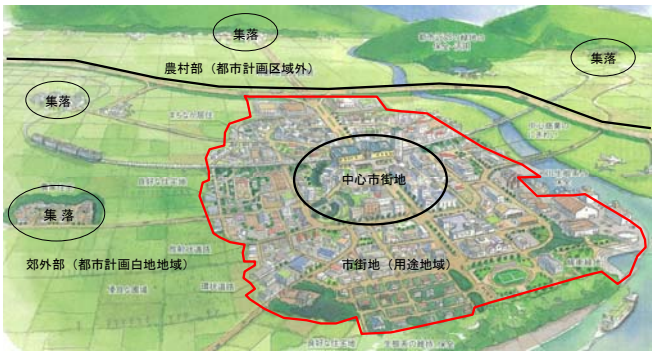
魅力ある都市づくり

Ⅰ．コンパクトシティの推進

郊外への都市的土地利用の拡大抑制、中心市街地の活性化等を図るため、暮らしに必要な諸機能が近接し、効率的で持続可能な都市「**コンパクトシティ**」を推進する。

具体的には、**新幹線新青森駅・青森駅周辺地区や、いわき駅前地区**において交通結節点強化・街なか居住・無電柱化などの各種施策との連携（まちづくり交付金）により魅力ある都市づくりを支援する。

東北のコンパクトシティ像



Ⅱ．都市内交通の円滑化

交通渋滞の解消・緩和を図り、都市内環境の改善を図るため、バイパス整備や環状道路等の整備を推進する。

具体的には、**平成20年度に国道46号盛岡西バイパスを部分供用（0．5km）**させる。

また、**多賀城地区において4箇所の踏切（JR仙石線）を除却**し安全で円滑な都市交通の確保を図るための「連続立体交差事業」を推進する。

２．平成２０年度の主な予定事業

安全で安心できる地域づくり

事業区分		事業名	事業着手	完成･供用目標	県名	頁
Ⅰ．大規模地震・津波への備え						
河川	直轄	北上川下流直轄河川工作物関連応急対策事業（津波対策）	Ｈ18年度	Ｈ20年度	宮城	8
河川	補助	平内海岸高潮対策事業	Ｓ61年度	Ｈ20年度	岩手	8
港湾	直轄	釜石港湾口地区防波堤整備事業	Ｓ53年度	Ｈ20年度	岩手	9
港湾	直轄	ＧＰＳ波浪計を活用した沖合波浪（津波）観測網の整備	Ｈ18年度	Ｈ22年度	―	9
道路	直轄	三陸縦貫自動車道 一般国道４５号 桃生登米道路	Ｈ5年度	Ｈ20年度（全線暫定）	宮城	10
道路	直轄	三陸縦貫自動車道 一般国道４５号 宮古道路	Ｈ15年度	Ｈ21年度（全線暫定）	岩手	10
道路	直轄	一般国道４５号 仙台東部共同溝（原町）	Ｈ19年度	Ｈ20年代前半	宮城	11
営繕	直轄	仙台第１地方合同庁舎増築棟	Ｈ20年度	―	宮城	11
Ⅱ．自然災害への備え						
河川	直轄	雄物川上流湯沢統合堰改築事業	Ｈ18年度	Ｈ22年度	秋田	12
河川	直轄	堤防質的整備（危険性の高い箇所）	Ｈ19年度	Ｈ21年度頃	―	12
河川	直轄	津軽ダム建設事業	Ｈ3年度	Ｈ28年度	青森	13
河川	直轄	胆沢ダム建設事業	Ｓ63年度	Ｈ25年度	岩手	13
河川	直轄	阿武隈川水系直轄火山砂防事業 荒川遊砂地	Ｈ元年度	Ｈ20年度	福島	14
河川	直轄	仙台湾南部海岸直轄海岸保全施設整備事業 Ｓ４号ヘッドランド	Ｈ12年度	Ｈ20年度	宮城	14
Ⅲ．日常生活における安全・安心対策の強化						
道路	直轄補助	道路橋の長寿命化計画	―	―	―	15
道路	直轄	一般国道７号 温海地区防災「堅苔沢地区局部改良」	Ｈ17年度	Ｈ20年度	山形	15
道路	補助	一般国道２８０号 与茂内橋外架替事業	Ｈ19年度	Ｈ20年度	青森	16
道路	直轄	一般国道６号 平鎌田交差点改良	Ｈ15年度	Ｈ20年度	福島	16
道路	直轄	一般国道７号 小波渡自転車歩行者道整備事業	Ｈ15年度	Ｈ20年度	山形	17
Ⅳ．雪に強く安全で快適な地域づくり						
河川	直轄	岩ヶ袋地区消流雪用水導入事業	Ｈ19年度	Ｈ22年度	山形	18
道路	補助	一般国道３４５号 雪寒道路事業 温海川工区	Ｈ19年度	Ｈ20年度	山形	18
Ⅴ．ユニバーサル社会の実現						
都市住宅	交付金	地域住宅交付金 秋田県営南ヶ丘公営住宅整備事業	Ｈ18年度	Ｈ21年度	秋田	19
道路	直轄	一般国道７号 土崎自転車歩行者道整備事業	Ｈ17年度	Ｈ21年度	秋田	19
道路	直轄	一般国道７号 土崎港地区電線共同溝	Ｈ18年度	Ｈ21年度	秋田	19

強い東北の創造

事業区分		事業名	事業着手	完成･供用目標	県名	頁
Ⅰ．グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備						
港湾	直轄	大船渡港永浜地区多目的国際ターミナル整備事業	H6年度	H22年度	岩手	20
道路	直轄	常磐自動車道 一般国道６号 仙台東部道路「仙台港ＩＣ(仮称)」	H18年度	H20年代前半	宮城	20
Ⅱ．地域間の交流・連携の強化、広域的な生活圏の形成						
道路	－	格子状骨格道路ネットワーク事業（東北６県）	－	－	－	21
道路	直轄	三陸縦貫自動車道 一般国道４５号 高田道路	H6年度	H20年度 （部分暫定）	岩手	22
道路	直轄	一般国道２８９号 甲子道路	H7年度	H20年度	福島	22
道路	直轄	日本海沿岸東北自動車道 大館北～小坂（新直轄）	H10年度	H20年代中頃	秋田	23
道路	直轄	日本海沿岸東北自動車道 温海～鶴岡（新直轄）	H9年度	H23年度 （全線暫定）	山形	23
道路	直轄	新潟山形南部連絡道路 一般国道１１３号 赤湯バイパス	H7年度	H20年度 （全線暫定）	山形	24

美しい東北の実現

Ⅰ．低炭素社会の構築						
道路	直轄	一般国道１３号 福島西道路	S57年度	H20年度	福島	25
都市住宅	交付金	地域住宅交付金　省エネモデル住宅建設事業	H18年度	H20年度	青森	25
Ⅱ．自然環境との共生						
河川	直轄	名取川藤塚地区直轄河川改修事業	H14年度	H20年代前半	宮城	26
道路	直轄	一般国道７号 青森環状道路	H7年度	H21年度	青森	26
Ⅲ．循環型社会の構築						
港湾	補助	青森港本港地区橋梁改良事業	H14年度	H23年度	青森	27
都市住宅	補助	下水道未普及解消クイックプロジェクト社会実験	H19年度	H24年度	岩手 福島	27
Ⅳ．観光振興・交流拠点の整備						
河川 道路	－	世界文化遺産登録を目指す「平泉」周辺のまちづくり	－	－	岩手	28
道路	直轄	道の駅	－	－	－	28
港湾	交付金	みなと振興交付金「酒田港歴史と文化のみなとオアシスづくり支援事業」	H19年度	H23年度	山形	29
公園	直轄	国営みちのく杜の湖畔公園整備事業 （Ⅱ期地区みちのく自然共生園）	H19年度	H22年度	宮城	29
都市住宅	交付金	まちづくり交付金「角館駅周辺地区」	H16年度	H20年度	秋田	30

魅力ある都市づくり

Ⅰ．「コンパクトシティ」の推進						
都市住宅	交付金	まちづくり交付金「新幹線新青森駅・青森駅周辺地区」	H18年度	H22年度	青森	31
都市住宅	交付金	まちづくり交付金「いわき駅前地区」	H16年度	H20年度	福島	31
Ⅱ．都市内交通の円滑化						
道路	直轄	一般国道４６号 盛岡西バイパス	S59年度	H20年度 （部分）	岩手	32
都市住宅	補助	多賀城地区連続立体交差事業	H11年度	H23年度	宮城	32

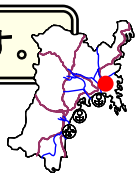
３．概算要求に関する主要事業

安全で安心できる地域づくり

Ⅰ．大規模地震・津波への備え

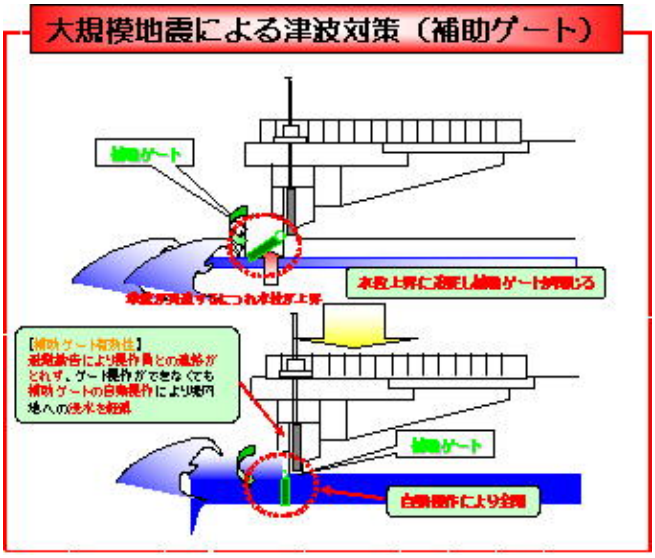
Ⅰ－１．津波や高潮から地域を守り、被害の軽減を図ります。

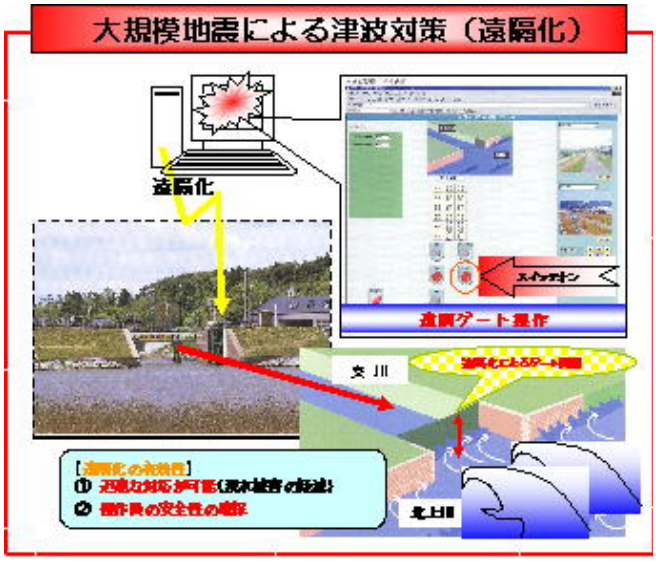
補助ゲートの設置及び遠隔操作化により、津波による浸水被害の軽減が図られます。



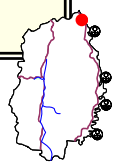
●［宮城県］北上川（きたかみがわ）下流直轄河川工作物関連応急対策事業（津波対策）（直轄）
【平成 20 年度完成予定】

・北上川下流（旧北上川）の３施設で補助ゲートの設置、２施設で遠隔操作化を実施し、対策の完了を目指します。



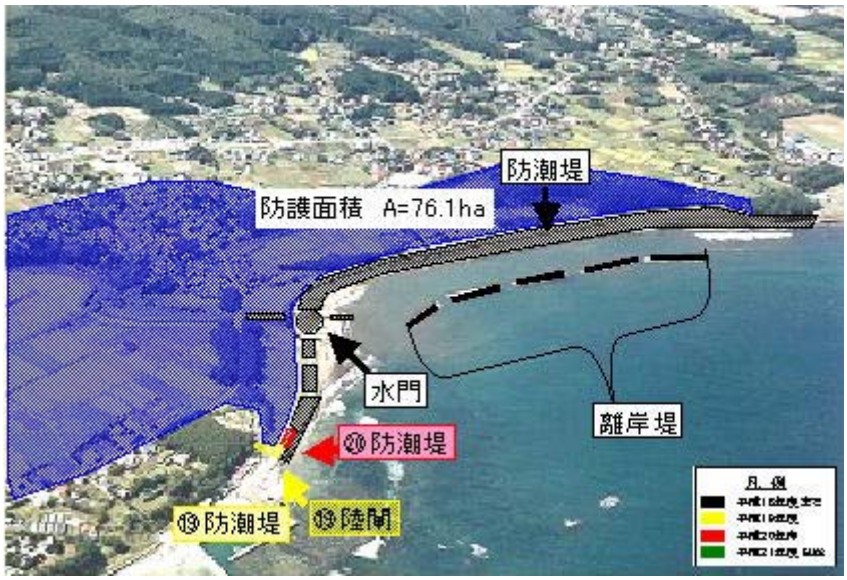


防潮堤や水門の整備により、津波による被害の軽減が図られます。



●［岩手県］平内（ひらない）海岸高潮対策事業（補助）【平成 20 年度完成予定】

・防潮堤などの整備を推進し、事業の完成を目指します。



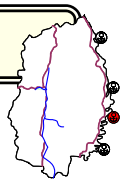


▲防潮堤整備状況



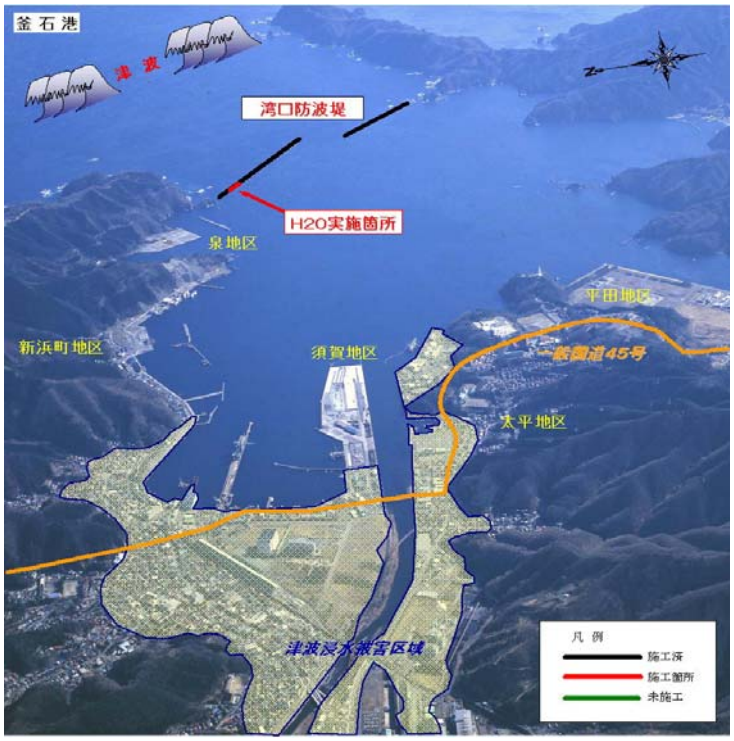
▲昭和８年三陸津波の被災状況

湾口防波堤の整備により、津波による被害の軽減が図られます。



●［岩手県］釜石港湾口地区防波堤整備事業（直轄）【平成 20 年度完成予定】

・防波堤上部の整備を実施し、事業の完成を目指します。



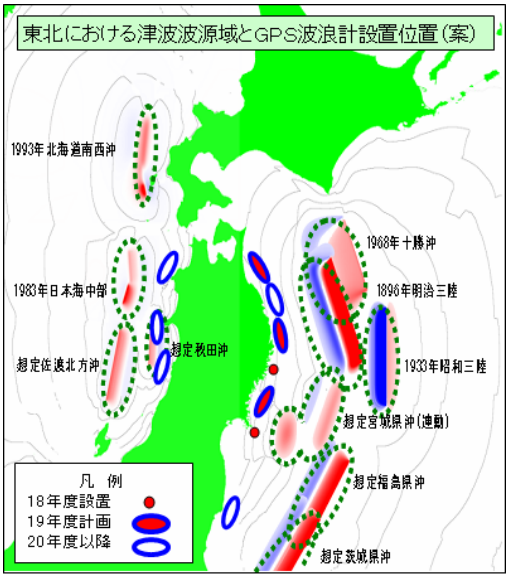


Ⅰ－２．災害時に迅速な対応を行えるよう、ＩＴを活用した情報基盤の整備と、地域や関係機関と情報共有を図るなど、危機管理体制の充実を図ります。

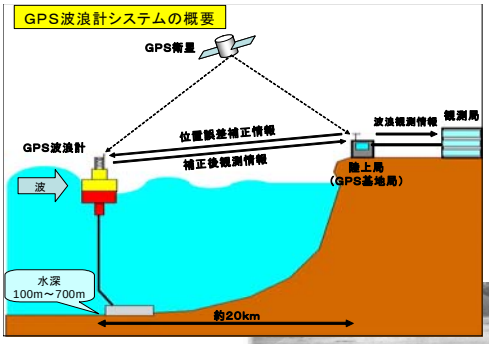
沿岸に津波が来襲する前に検知し、住民の避難誘導等に貢献します。

●ＧＰＳ波浪計を活用した沖合波浪（津波）観測網の整備（直轄）【平成 22 年度完成予定】

・観測網の本格運用を開始するとともに、沿岸での観測情報との共有化システムを構築し、防災業務実施機関への情報提供を行います。



●東北地方配置計画　H22 年度まで 10 基設置



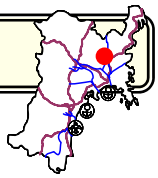




▲昭和 35 年チリ沖地震津波の被災状況（気仙沼市）

Ⅰ－３．緊急物資輸送が可能な安全で信頼性の高い道路網の形成を図ります。

災害等緊急時における信頼性の確保、救急医療活動への支援が図られます。



●［宮城県］三陸縦貫自動車道　一般国道４５号　桃生登米道路（直轄）

【平成 20 年度全線暫定供用予定】

・桃生津山 IC～登米 IC（仮称）間 L=９．６ｋｍについて、土工及び橋梁工事を推進し、全線暫定供用を目指します。





▲桃生登米道路(桃生津山 IC 付近)(H19.6)

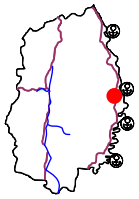


	現　在	平成20年度（登米ICまで整備時）	増　減
人口（人）	310,258	354,841	44,583
面積（km2）	770	929	159

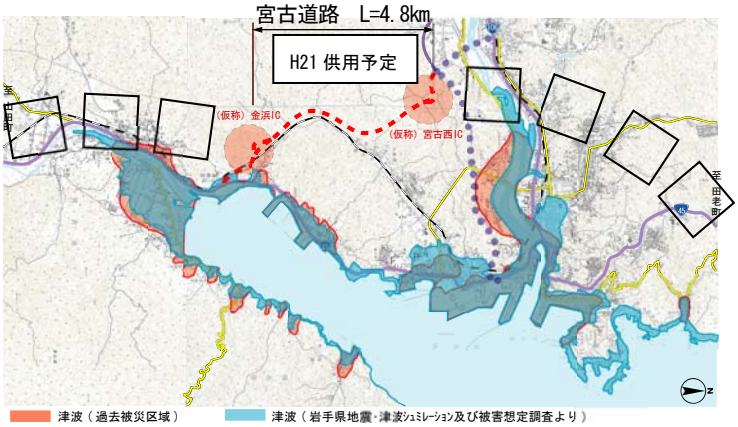
▲30 分カバーエリアの人口・面積の変化

●［岩手県］三陸縦貫自動車道　一般国道４５号　宮古道路（直轄）

【平成 21 年度全線暫定供用予定】



・改良工事を推進し、事業の進捗を図ります。



▲宮古道路と浸水想定区域図



▲時間短縮効果

Ⅰ－４．都市災害防止の観点から、各種ライフラインを収容する共同溝の整備や防災上危険な市街地の改善などを推進します。

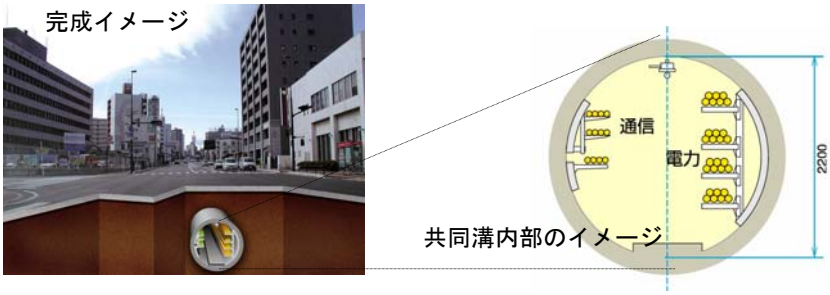
災害時のライフラインの確保、路上工事の縮減による円滑な交通の確保が図られます。

●［宮城県］一般国道４５号 仙台東部共同溝（原町）（直轄）【平成 20 年代前半完成予定】

・共同溝本体の掘進工事を行い、事業の進捗を図ります。



▲共同溝整備位置図

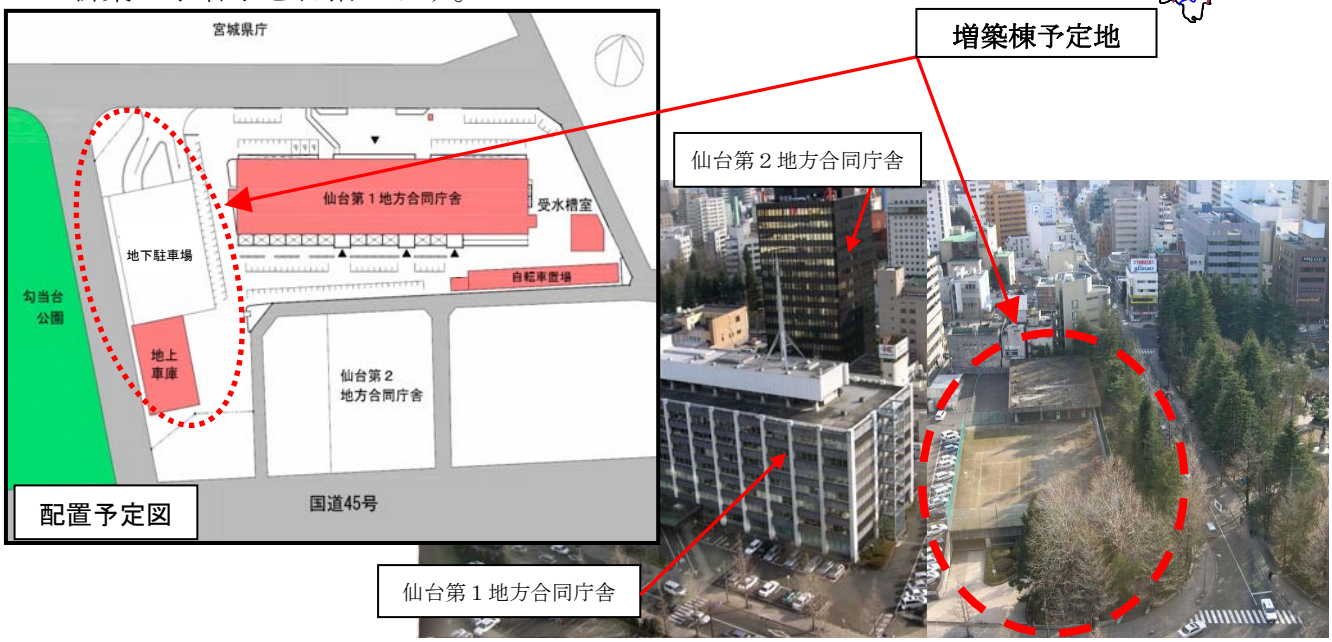


Ⅰ－５．大規模地震発生時にも官庁施設がその機能を十分に発揮できるよう防災拠点施設として整備します。

総合的な耐震安全性を確保し、災害に対する迅速な活動に寄与します。

●［宮城県］仙台第１地方合同庁舎増築棟（直轄）

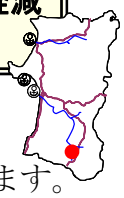
・新築工事着手を目指します。



Ⅱ．自然災害への備え

Ⅱ－１．河川氾濫から地域を守るため、河川改修・ダムなどの整備を一体的に推進します。

洪水時、流下の阻害となっている堰の改築により疎通能力を確保し、浸水被害の軽減を図ります。



●［秋田県］雄物川（おものがわ）上流湯沢統合堰改築事業（直轄）【平成 22 年度完成予定】

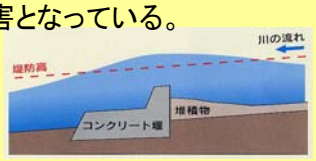
・湯沢統合堰本体工及びゲート（左岸部）、導水路 750m を実施し、事業の進捗を図ります。



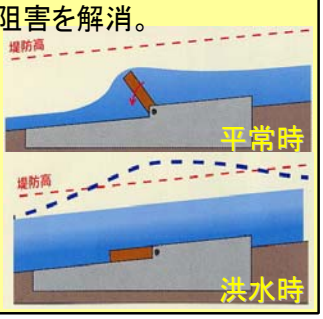
▲現固定堰が洪水時の流下の阻害となっている



《現況》
堰天端高が河床より高く固定堰のため洪水流下の阻害となっている。



《事業実施後》
平常時は、取水のため堰を起立し、洪水時は倒伏することにより、洪水の流下阻害を解消。

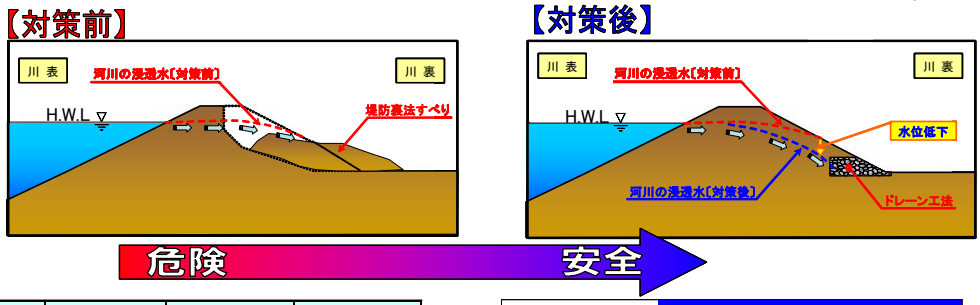


堤防の安全性を確保する堤防質的整備を推進し、安全で安心な生活の確保を図ります。

●堤防質的整備（危険性の高い箇所）（直轄）

・「洪水時に破堤等の危険性が高い堤防」４．０７ｋｍの対策に平成１９年度から着手。

・平成１９年度～平成２１年度までの３箇年程度で対策の完了を目指します。



水系名	要対策延長（m）	H19対策延長（m）	H20以降対策延長（m）
阿武隈川	450	150	300
鳴瀬川	750		750
北上川	950		950
米代川	1,000	100	900
子吉川	470		470
最上川	450	200	250
合計	4,070	450	3,620



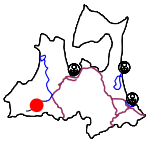
洪水調節、流水機能の維持、かんがい用水・水道用水の供給、発電などを行い、安全で安心な生活の確保を図ります。

●［青森県］津軽（つがる）ダム建設事業（直轄）【平成 28 年度完成予定】

・本体建設工事に着手するとともに、本体関連工事を実施し、事業の進捗を図ります。



▲津軽ダム完成予想図





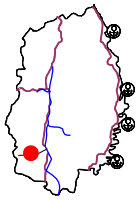
▲平成 16 年 9 月台風による出水状況
（岩木川：弘前市）

●［岩手県］胆沢（いさわ）ダム建設事業（直轄）【平成 25 年度完成予定】

・堤体盛土工事等本体工事及び付替国道・市道・林道工事を実施し、事業の進捗を図ります。



▲本体工事中の胆沢ダム（下流側から）





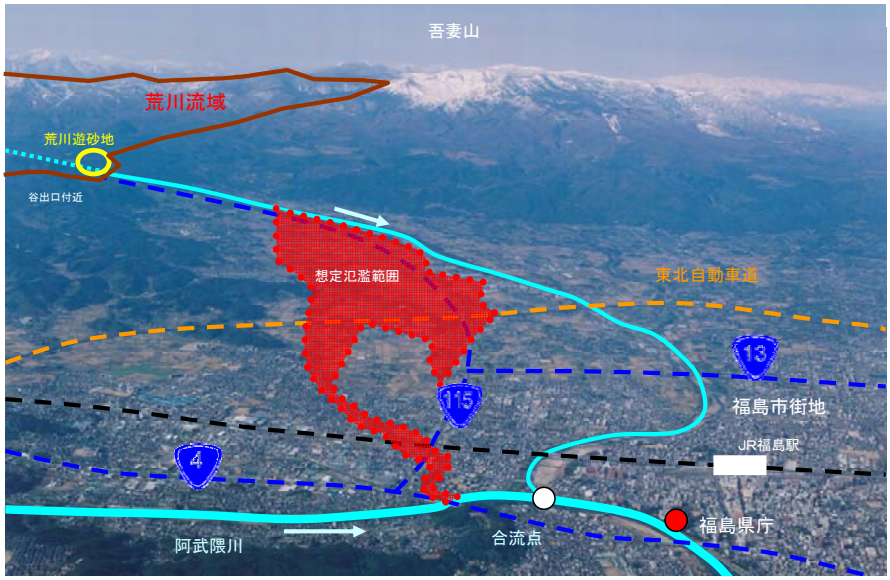
▲渇水により干上がった石淵ダム
（平成 6 年 7 月）

Ⅱ－２．土砂災害から下流地域の生命や財産を守るため、砂防えん堤等の土砂流出防止対策を推進します。

遊砂地・砂防えん堤の整備により、下流地域の生命・財産及び重要交通網等を守ります。

●［福島県］阿武隈川水系直轄火山砂防事業　荒川遊砂地（直轄）【平成 20 年度完成予定】

・荒川遊砂地の第３床固の整備を実施し、事業の完成を目指します。



▲土砂流出による河床上昇時の想定氾濫範囲





▲平成 10 年 9 月下流河川区域における破堤



▲荒川遊砂地

Ⅱ―３．侵食が進行している海岸において、国土の保全及び高潮から人家・財産等を保護するため、ヘッドランド（人口岬）、堤防の整備を推進します。

ヘッドランド（人口岬）の整備により、漂砂及び養浜材の捕捉効果向上と消失した砂浜の早期創出が図られ、高潮・高波による浸水を防止し、沿岸集落及び重要交通網を守ります。



●［宮城県］仙台湾南部海岸直轄海岸保全施設整備事業Ｓ４号ヘッドランド（直轄）【平成 20 年度完成予定】

・ヘッド部北半分(75m)の工事を実施し、Ｓ４号ヘッドランドの完成を目指します。





▲海岸侵食によって海岸保全施設が被災



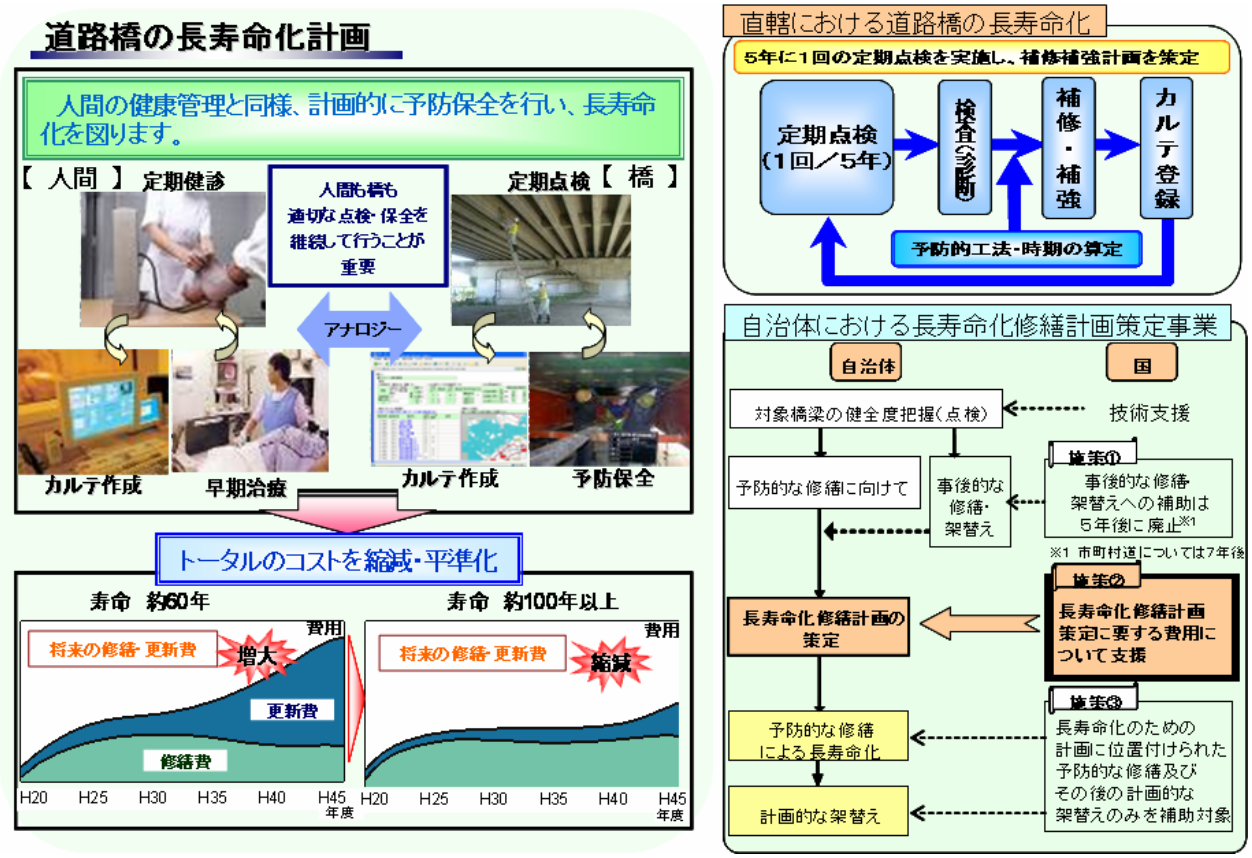
▲整備後のイメージ

Ⅲ．日常生活における安全・安心対策の強化

Ⅲ－１．劣化状況・健全度の評価による修繕・更新時期の予測など、予防保全的管理への転換に向けた社会資本の戦略的維持管理を推進します。

橋梁の予防的な修繕及び計画的な架替えへと円滑な政策転換を図ります

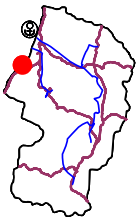
●道路橋の長寿命化計画（直轄、補助）



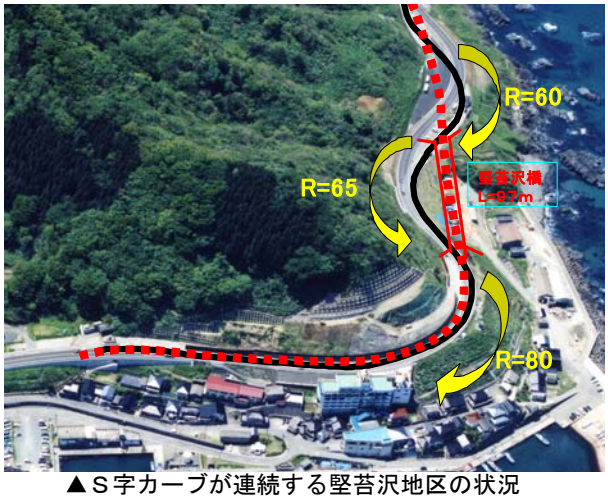
Ⅲ－２．健全な道路機能の確保により、道路交通を保全します。

防災対策や道路改良により、道路交通の安全性の確保を図ります。

●［山形県］一般国道７号　温海（あつみ）地区防災「堅苔沢（かたのりざわ）地区局部改良」（直轄）
【平成 20 年度完成予定】

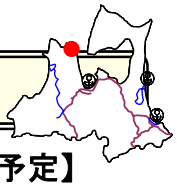


・法面保護工及び舗装工事を実施し、事業の完成を目指します。



▲Ｓ字カーブが連続する堅苔沢地区の状況

橋梁の架替により、安全で円滑な交通の確保を図ります。



●［青森県］一般国道２８０号与茂内橋（よもないばし）外架替事業（補助）【平成 20 年度完成予定】

・浜名橋の架替を実施し、事業の完成を目指します。





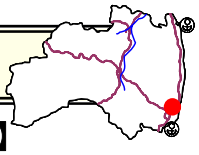
▲鋼版接着が塩害により腐食（浜名橋）



▲鉄筋の露出・はらみだし（浜名橋）

Ⅲ－３．より効果的・効率的に交通事故を削減するため、死傷事故率の高い地区・箇所等の交通事故対策を重点的に進めます。

交差点改良により、安全で円滑な交通を確保し、死傷事故の減少を図ります。

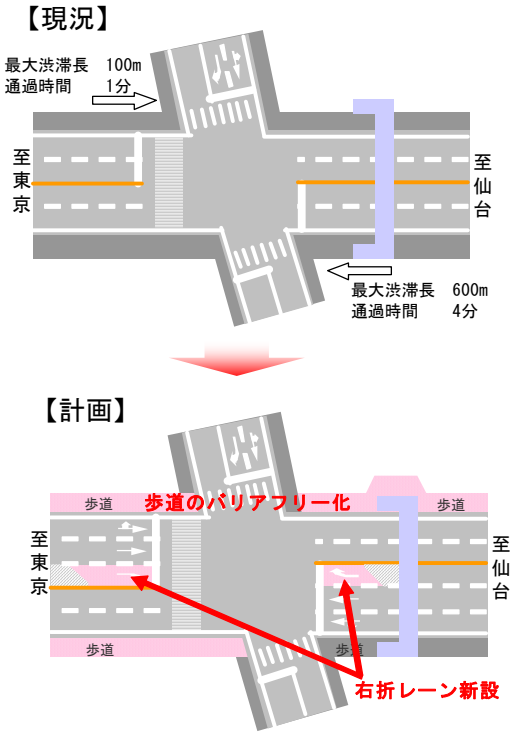


●［福島県］一般国道６号　平鎌田（たいらかまた）交差点改良（直轄）【平成 20 年度完成予定】

・交差点改良（右折レーン新設）を実施し、事業の完成を目指します。

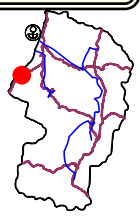


▲右折レーンがなく直進車の交通が阻害



Ⅲ－４．誰もが安全かつ快適に通行可能な歩行空間の確保を図るため、歩道のバリアフリー化事業を推進します。

自転車歩行者道の整備により、安全・安心・快適に利用できる歩行空間を確保します。



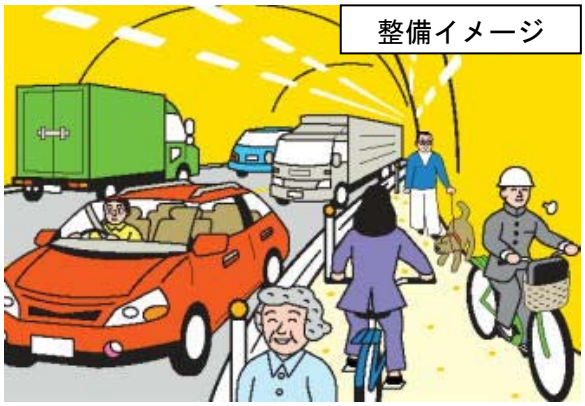
● **［山形県］小波渡（こばと）自転車歩行者道整備事業（直轄）【平成 20 年度完成予定】**

・トンネル本体工事を推進し、事業の完成を目指します。





▲通学路として利用されている鯵ヶ崎トンネル

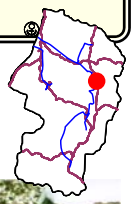


▲安全で快適な歩行空間を確保

Ⅳ．雪に強く安全で快適な地域づくり

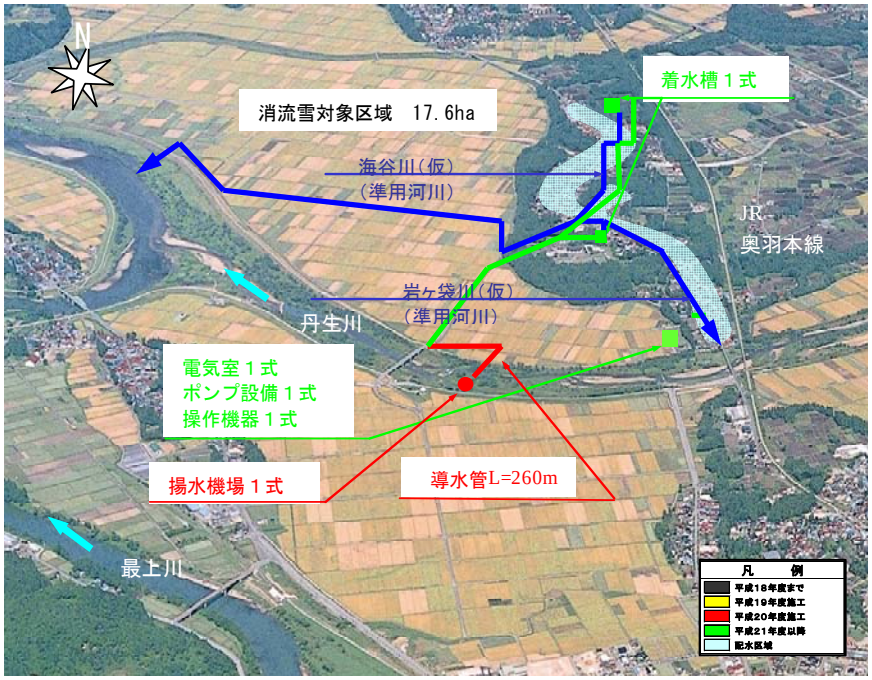
Ⅳ－１．雪による暮らしの障害を克服するため、冬期歩行空間確保など冬期バリアフリー対策を推進します。

消流雪用水の導水路整備により、必要な流雪水量を確保し、除排雪作業の効率を高めます。



●［山形県］岩ヶ袋（いわがふくろ）地区消流雪用水導入事業（直轄）【平成 22 年度完成予定】

・揚水機場、導水管の整備を行い、事業の進捗を図ります。





危険な状況の通学路

整備イメージ



導入前



導入後

雪崩などの雪害を防止し、重要な幹線道路として、冬季間の安全な通行を確保します。

●［山形県］一般国道345号　雪寒道路事業　温海川（あつみがわ）工区（補助）【平成 20 年度完成予定】

・雪崩予防柵 L=４０ｍを設置し、事業の完成を目指します。





▲雪崩の発生による交通障害





雪崩予防柵の完成イメージ

Ⅴ．ユニバーサル社会の実現

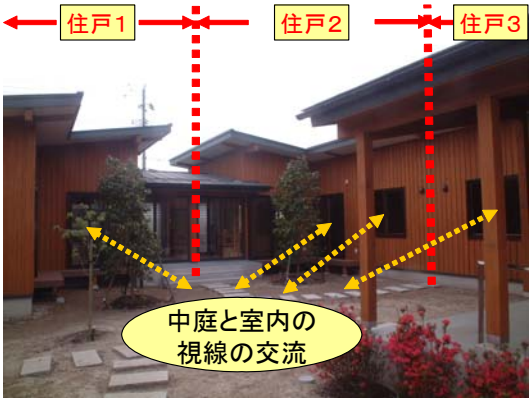
Ⅴ－１．誰もが安全・快適に暮らせる生活環境づくりを進めるため、公共空間、住宅・建築物におけるユニバーサルデザインの導入や交通安全対策などを行います。

高齢者の生活や子育て環境に配慮し、住民同士の交流が活発に行われる安全で安心なまちづくりに寄与します。

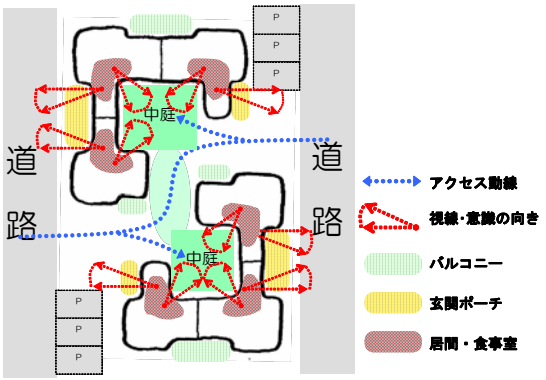


●［秋田県］地域住宅交付金　秋田県営南ヶ丘（みなみがおか）公営住宅整備事業（交付金）
【平成 21 年度完成予定】

・住宅２０戸の完成を目指します。※平成 18､19 年度には、全 91 戸のうち 40 戸が完成

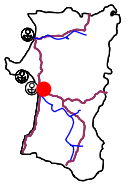


▲見守り・見守られる空間づくりに配慮した、中庭を取り囲む３戸１棟のユニット単位の建築計画



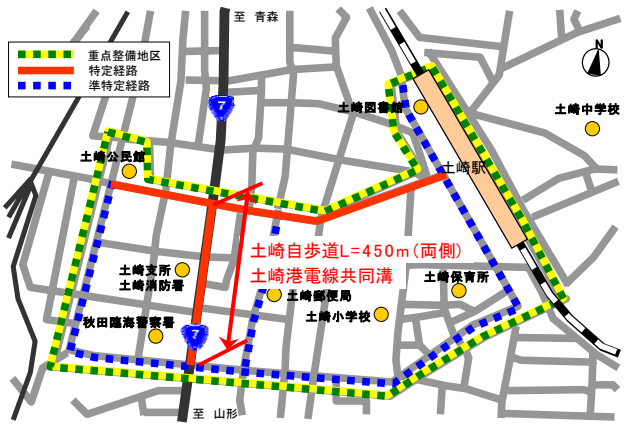
▲住宅構造の模式図

電線の埋設により、高齢者、車いす、自転車等の全ての利用者が安全で利用しやすい歩行空間を確保します。

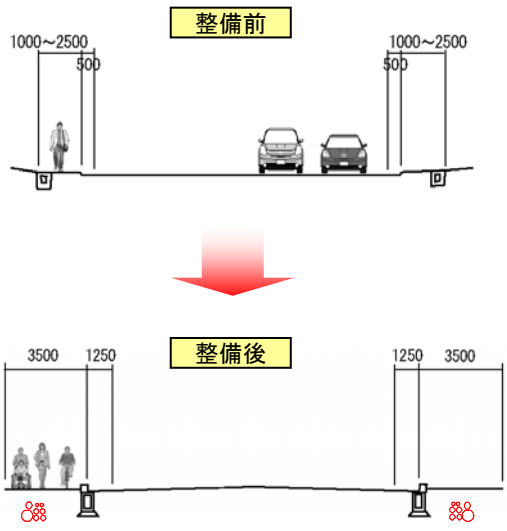


●［秋田県］土崎（つちざき）自転車歩行者道整備事業（直轄）【平成 21 年度完成予定】
土崎港（つちざきみなと）地区電線共同溝（直轄）　【平成 21 年度完成予定】

・用地買収を進め工事に着手し、事業の進捗を図ります。



▲整備箇所図



強い東北の創造

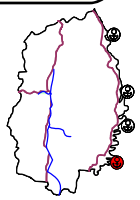
Ⅰ．グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備

Ⅰ－１．船舶の大型化に対応するため、岸壁の整備を推進します。

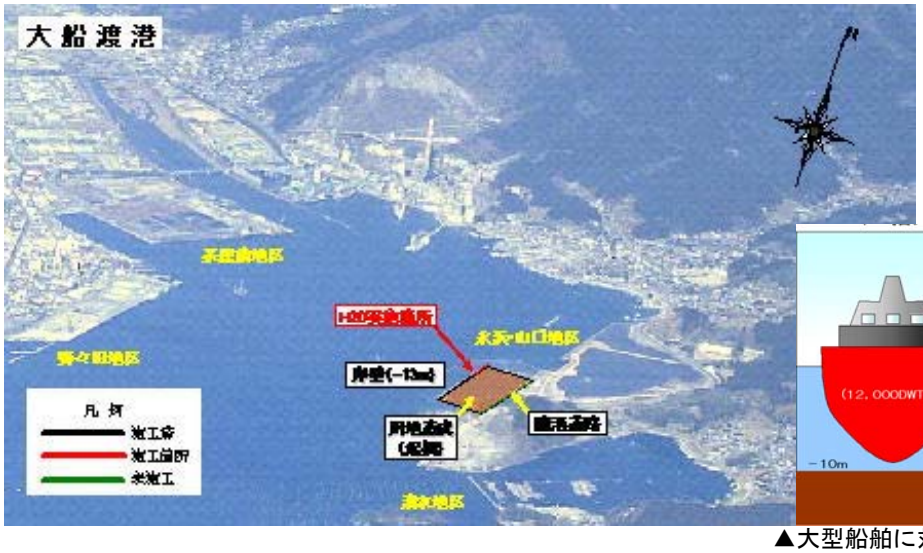
岸壁の整備により、岸壁の不足が解消するとともに、大型船舶での輸送が可能となり、物流コストの縮減が図られます。

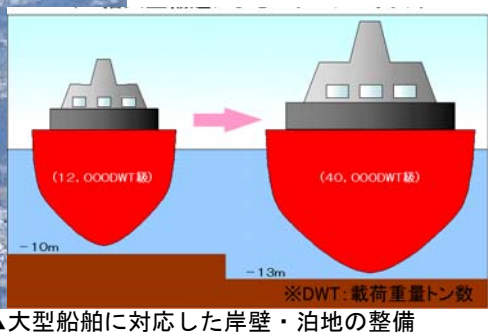
●［岩手県］大船渡港永浜地区多目的国際ターミナル整備事業（直轄）

【平成 22 年度完成予定】



・岸壁上部および裏込の整備を実施し、事業の進捗を図ります。





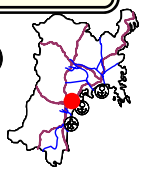
▲大型船舶に対応した岸壁・泊地の整備
（一括大量輸送によるスケールメリット）

Ⅰ－２．港湾と高速道路を直結し、物流の効率化により国際競争力を強化します。

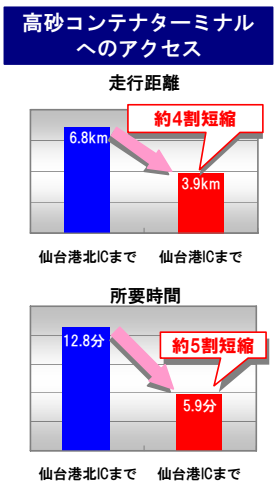
港湾に直結するＩＣを設置し、物流の効率化を図ります。

●［宮城県］常磐自動車道　国道６号　仙台東部道路「仙台港ＩＣ（仮称）（直轄）

【平成２０年代前半完成予定】







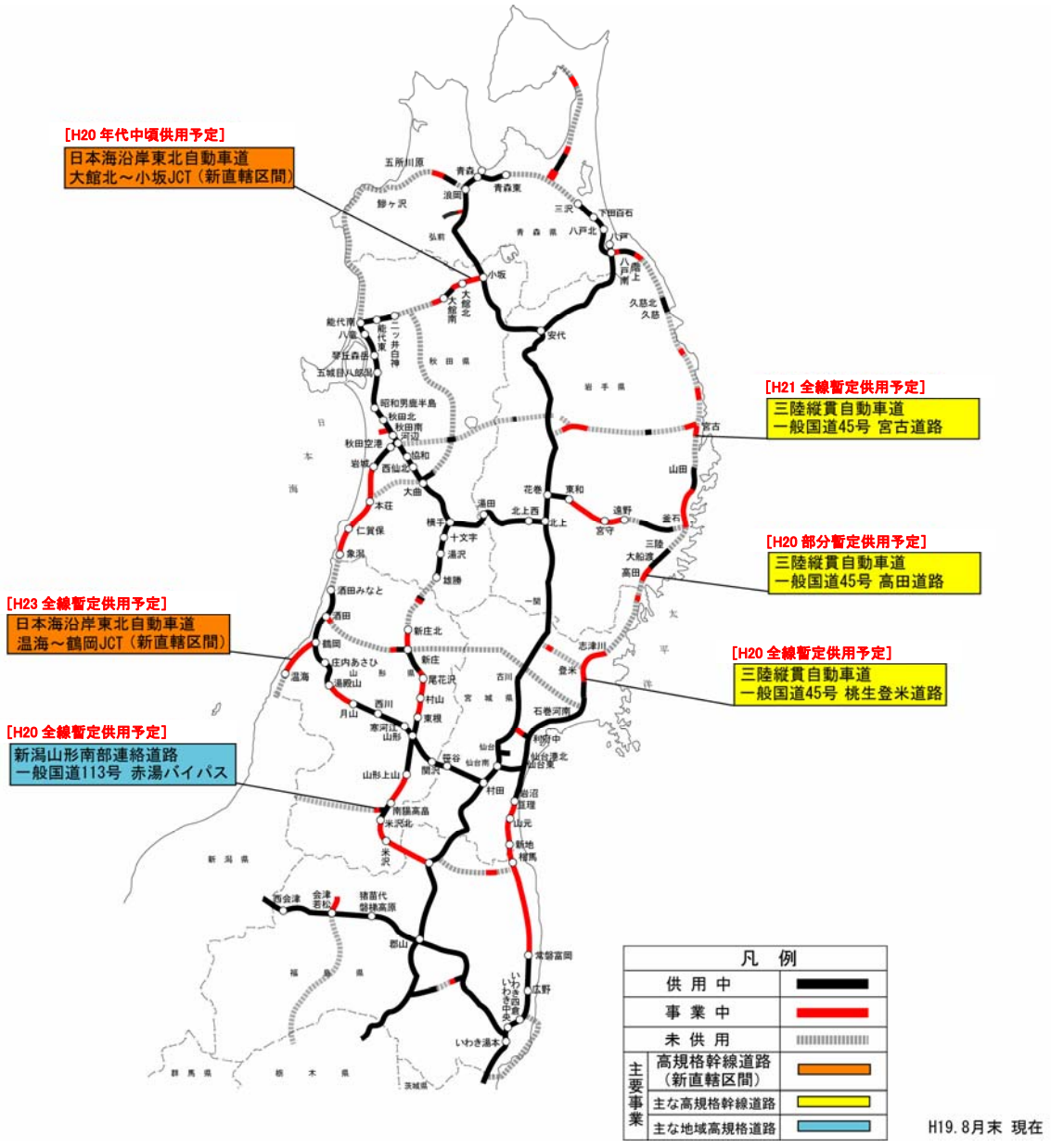
Ⅱ．地域間の交流・連携の強化、広域的な生活圏の形成

Ⅱ－１．都市と中山間地域の交流・連携の強化と広域的な生活圏の形成を支援するため、高規格幹線道路・地域高規格道路等の幹線道路の整備を推進します。

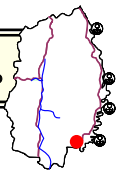
●格子状骨格道路ネットワーク事業（東北６県）

		全体計画	H18 末まで		H19 末まで		H20 末まで	
			延長（km）	供用率	延長（km）	供用率	延長（km）	供用率
高規格幹線道路	全国	14,000	9,073	65%	9,325	67%	―	―
	東北	2,204	1,411	64%	1,485	67%	1,498	68%
地域高規格道路	全国	6,950	1,729	25%	―	―	―	―
	東北	660	89	13%	94	14%	105	16%

［東北地方における格子状骨格道路ネットワーク］



地域間交流や地域経済発展・活性化のため、安全で確実な交通の確保を図ります。



●［岩手県］一般国道４５号　高田（たかた）道路（直轄）【平成 20 年度部分暫定供用予定】

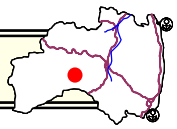
・陸前高田市米崎町～大船渡碁石海岸 IC 間 L=３．４ｋｍについて、舗装及び付属施設工事を実施し、部分暫定供用を目指します。





▲陸前高田市から大船渡市までの所要時間が短縮され、迅速で安心な交通を確保

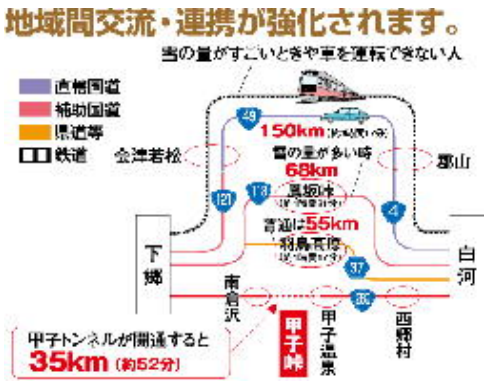
通行不能区間の解消により、地域間交流・連携が期待されます。



●［福島県］一般国道２８９号　甲子（かし）道路（直轄権限代行）【平成 20 年度完成予定】

・管理施設及び舗装工事を実施し、全線完成供用を目指します。





高速交通ネットワークにより、緊急時の代替路の確保や広域観光ルートの形成、港湾・空港等へのアクセス向上及びカバー圏が拡大されます。



●［秋田県］日本海沿岸東北自動車道　大館北（おおだてきた）～小坂（こさか）（新直轄）

【平成 20 年代中頃完成予定】

・用地買収・改良工事の継続推進を図るとともに、全線において、土工・トンネル工事・橋梁工事を行い、事業の進捗を図ります。



▲大館市釈迦内から終点方向を望む



▲広域観光ルートが形成



▲国道の代替ルートを確保

●［山形県］日本海沿岸東北自動車道　温海（あつみ）～鶴岡（つるおか）（新直轄）

【平成 23 年度全線暫定供用予定】

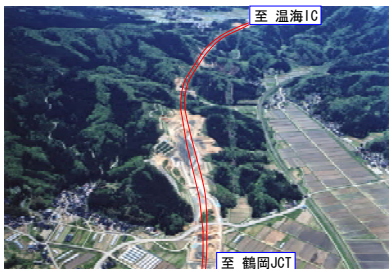
・温海ＩＣ～鶴岡ＩＣ間（Ｌ＝２６ｋｍ）全線において、土工・トンネル工事・橋梁工事を行い、事業の進捗を図ります。







▲国道７号の越波状況



▲鶴岡大広地区より温海ＩＣ方向を望む

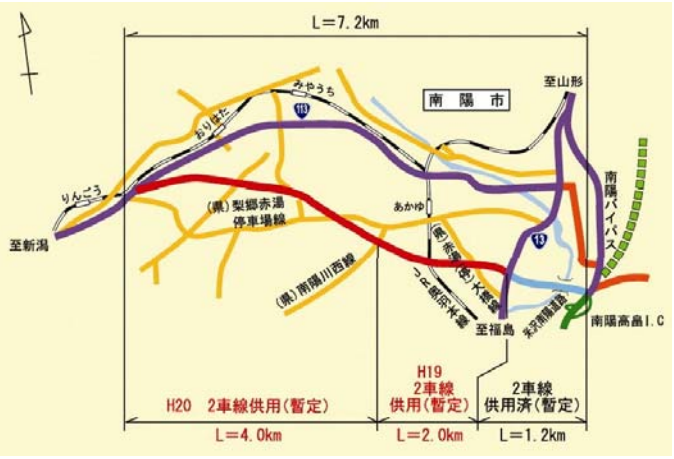
大型車通行規制区間が回避されるとともに、市街地の現道交通量の減少等、住民の安全と生活環境が改善されます。

●［山形県］新潟山形南部連絡道路　一般国道１１３号　赤湯（あかゆ）バイパス（直轄）

【平成 20 年度全線暫定供用予定】

・南陽市大字竹原～南陽市大字島貫間 L=４.0km において、土工・舗装工事を実施し、全線暫定供用を目指します。







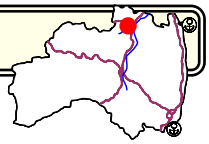
▲南陽市赤湯の混雑状況

美しい東北の実現

Ⅰ．低炭素社会の構築

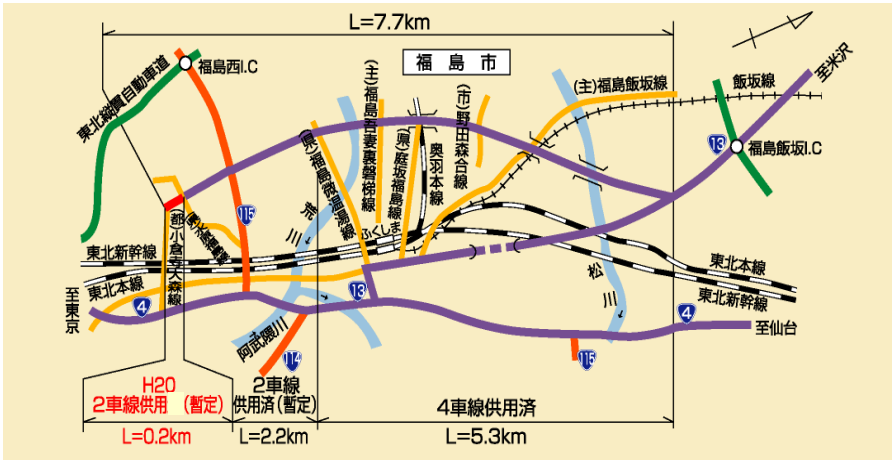
Ⅰ－１．交通渋滞の緩和施策、エネルギー効率の向上施策、効率住宅・建築物の省エネ性能の向上施策により地球温暖化防災対策を強化します。

交通混雑が緩和され、CO_2排出量が年間１２，４００ｔ削減されます。



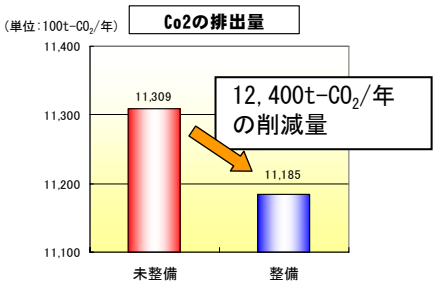
●［福島県］福島西道路（直轄）【平成 20 年度全線供用予定】

・全体延長７．７km のうち、残る０．２km について２車線暫定供用を図り、全線供用を目指します。





▲鳥谷野交差点（福島市）渋滞状況

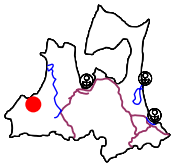


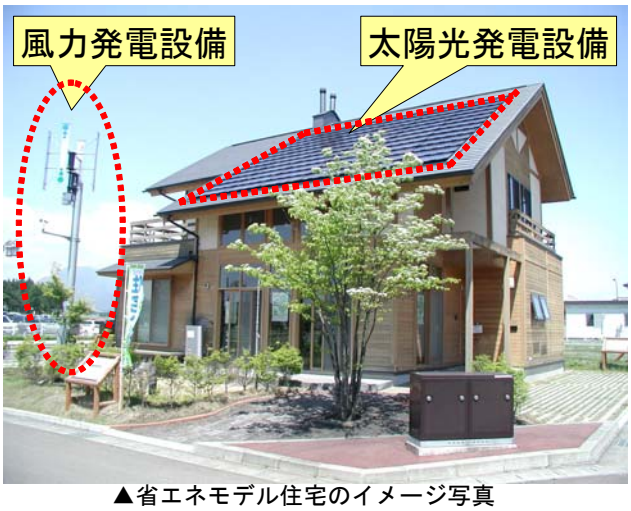
▲福島西道路完成によるCO_2削減効果

省エネ住宅及び設備の普及促進を図り、CO_2排出量の削減により、地球温暖化対策に寄与します。

●［青森県］地域住宅交付金　省エネモデル住宅建設事業（交付金）【平成 20 年度完成予定】

・居住用住宅とモデルルームの２棟を建設します。





▲省エネモデル住宅のイメージ写真

（提供：岩手県建築住宅課）

＜省エネモデル住宅＞

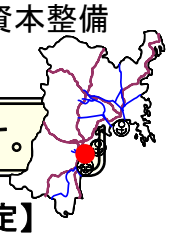
■省エネルギー性能に優れた住宅としての規模・設備を備えた住宅を建設します。

・標準家族（４人／世帯）が居住する規模

・光熱費節減（二酸化炭素（Co2）排出量抑制）のための発電設備（風力及び太陽光）省エネ型の暖房・給湯設備を設置

Ⅱ．自然環境との共生

Ⅱ－１．生態系の保全などに配慮しながら、自然との共生・調和を目指した社会資本整備を図ります。



豊かな自然環境の保全を図りつつ、洪水時の住宅地等への浸水被害を軽減します。

●［宮城県］名取川藤塚地区直轄河川改修事業（直轄）【平成 20 年代前半完成予定】

・藤塚排水機場(樋門)の完成を図るとともに築堤に本格着手し、事業の進捗を図ります。



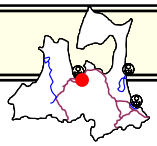


▲昭和 61 年 8 月出水状況



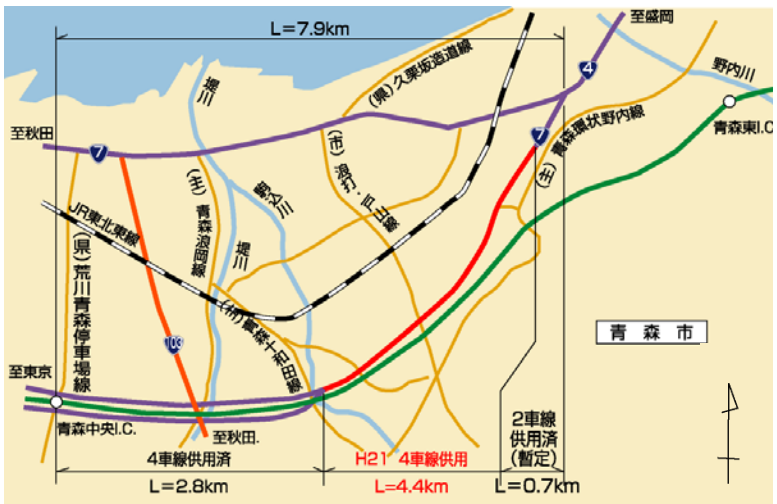
▲絶滅危惧種のヒヌマイトトンボ

道路の渋滞緩和を図るとともに、動植物の保全に寄与します。



●［青森県］一般国道７号　青森環状道路（直轄）【平成 21 年度供用予定】

・青森市筒井～同市平新田（L=5．１km）の改良・舗装・植栽工事を実施し、事業の進捗を図ります。





▲ビオトープ全景

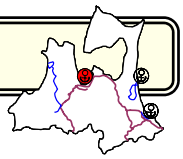


▲青森環状道路渋滞（筒井交差点）

Ⅲ．循環型社会の構築

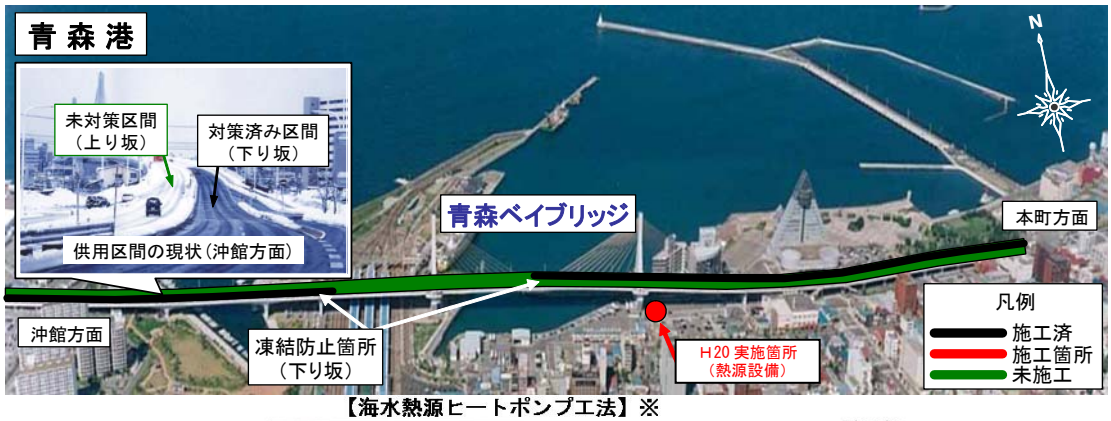
Ⅲ－１．地域の特性を活かした地球に優しいクリーンエネルギーの活用を推進します。

海水熱を有効活用し、経済的な消融雪により路面凍結を防止します。

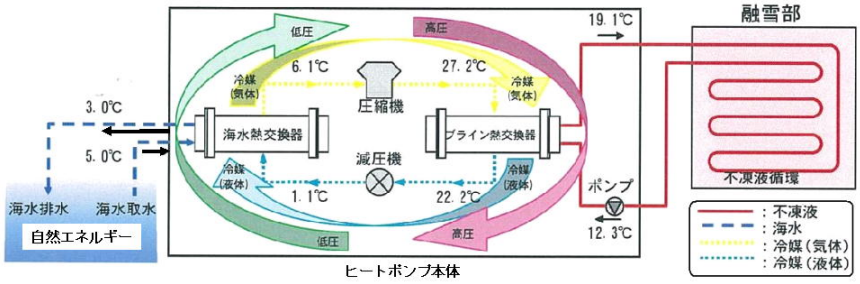


●［青森県］青森港本港（あおもりこうほんこう）地区橋梁改良事業（補助）【平成 23 年度完成予定】

・熱源設備を整備し、冬期凍結の危険性の高い下り坂（本町方面）の凍結防止箇所の機能確保を行い、下り坂の供用を目指します。



【海水熱源ヒートポンプ工法】※



ヒートポンプ本体

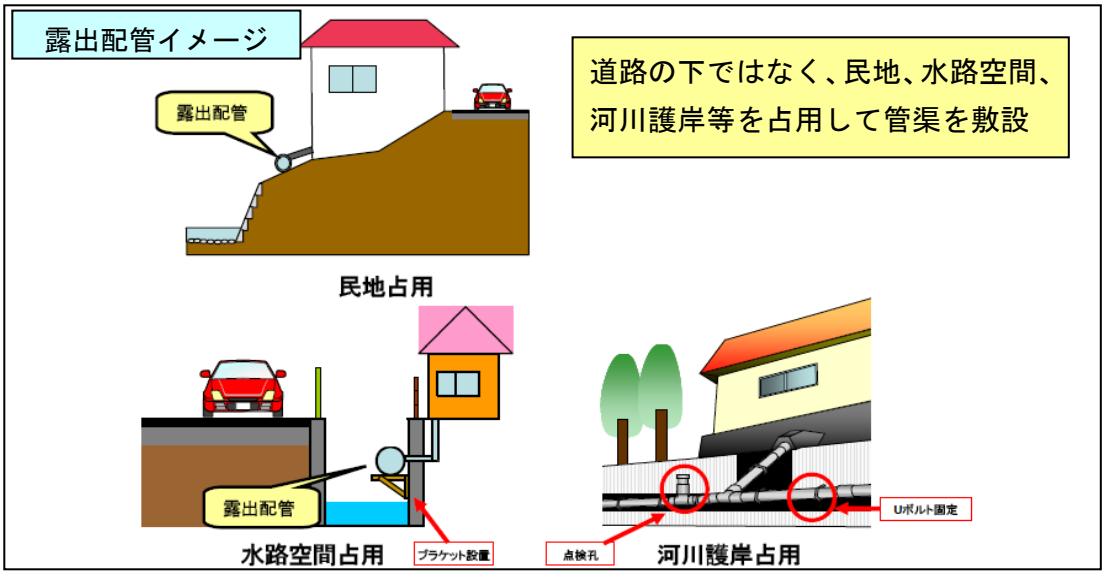
Ⅲ－２．整備の遅れている下水道事業で、低コストで早期に整備する手法を導入します。

下水道が使用可能な人口が増加し、生活環境向上や公共用水域の水質改善を図ります。

●［岩手県、福島県］下水道未普及解消クイックプロジェクト社会実験（補助）

【平成 24 年度完成予定】

・管渠や処理場の整備を推進し、事業の進捗を図ります。

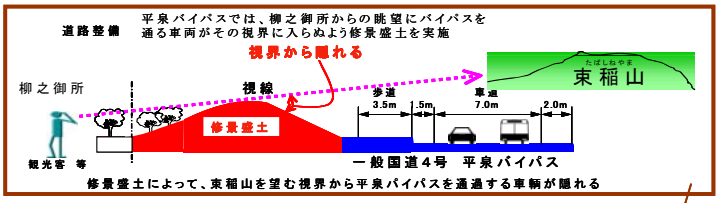


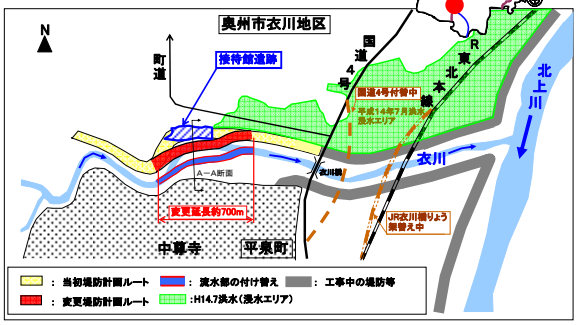
Ⅳ．観光振興・交流拠点の整備

Ⅳ－１．東北の豊かな自然・歴史・文化などを実感できる個性的なまちづくりや観光振興・交流拠点の整備を行います。

多くの観光客が平泉・一関の世界遺産を実感できるまちづくりを支援します。

●［岩手県］世界文化遺産登録を目指す「平泉」周辺のまちづくり





▲築堤ルートを変更し、接待館遺跡を保存



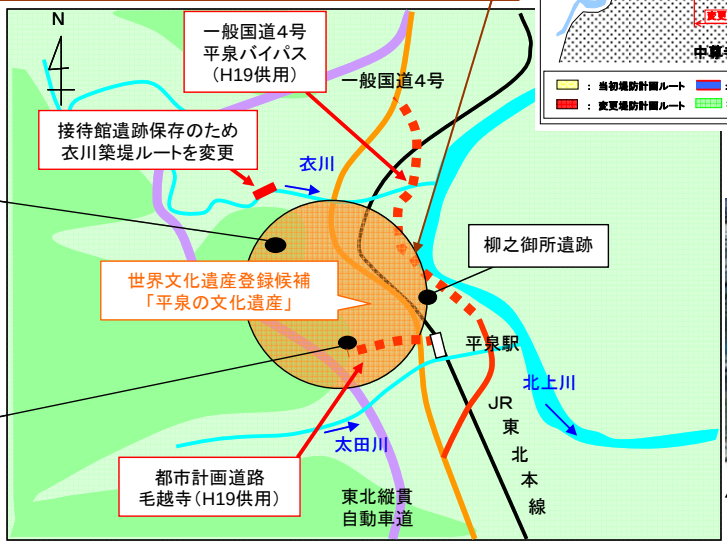
▲一関地区水辺プラザ整備事業（H20完成予定）



▲中尊寺
（出典：平泉町HP）



▲毛越寺
（出典：平泉町HP）



道路利用者の利便性の向上、及び観光振興や地域交流・連携の拠点となる、「道の駅」の整備を推進します。

●「道の駅」による交流拠点の整備　～平成19年8月　新たに4箇所が新規登録～



▲「道の駅　十文字」
一般国道13号　秋田県横手市



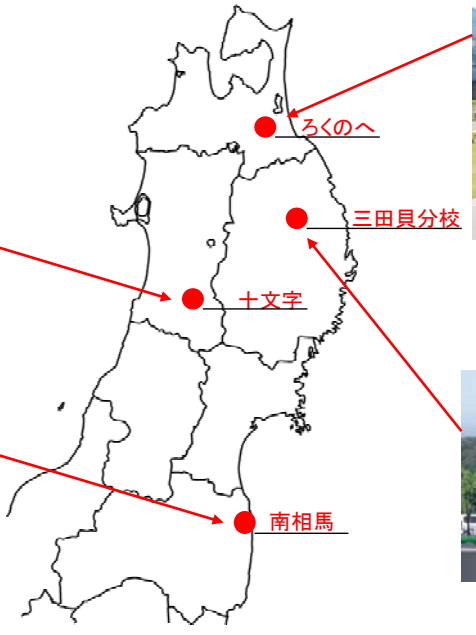
▲「道の駅　ろくのへ」
一般国道45号　青森県六戸町



▲「道の駅　南相馬」
一般国道6号　福島県南相馬市



▲「道の駅　三田貝分校」
一般国道455号　岩手県岩泉町



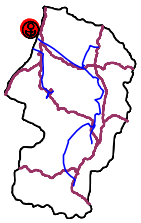
▲平成19年8月に新規登録された「道の駅」

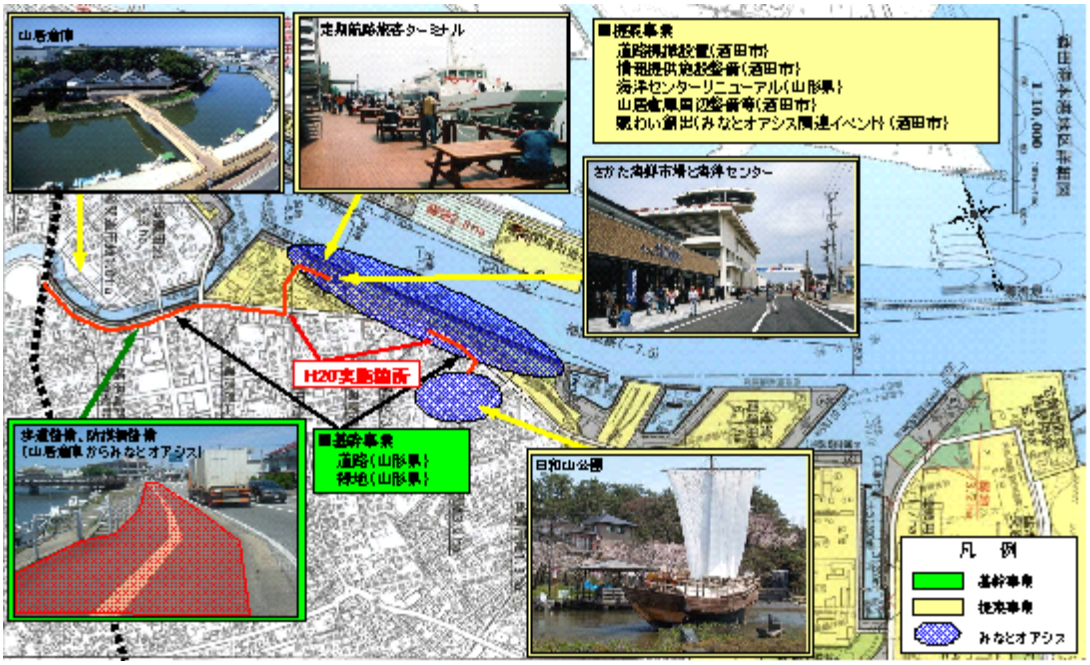
賑わい空間の創出を図ることにより、住民や観光客が親しみやすいみなとづくりが促進されます。

●［山形県］みなと振興交付金「酒田港（さかたこう）歴史と文化のみなとオアシスづくり支援事業」

（交付金）【平成 23 年度完成予定】

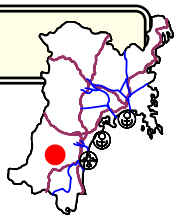
・臨海道路の歩道及び案内板の整備を実施し、事業の進捗を図ります。





▲歴史・文化遺産等を繋ぐ遊歩道を整備し、連携・回遊性の強化により、賑わい空間の創出を図る

観光振興・地域間の交流・連携等の場として地域活性化に貢献します。

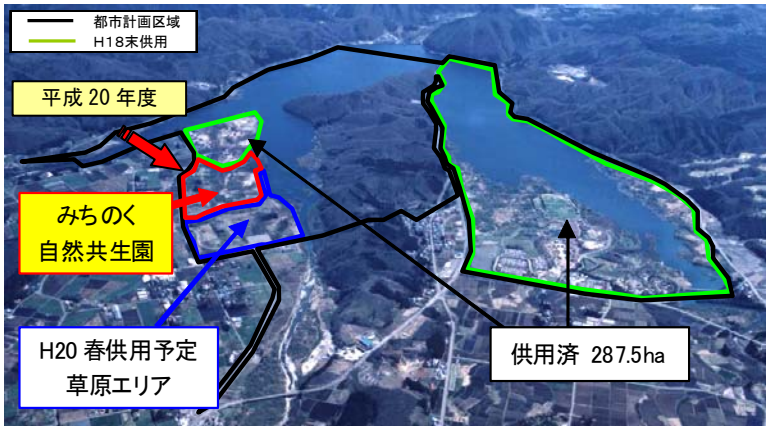


●［宮城県］国営みちのく杜の湖畔公園整備事業

（Ⅱ期地区みちのく自然共生園）（直轄）【平成 22 年度完成予定】

・基盤造成や園路等の整備を実施し、事業の進捗を図ります。

＜自然共生園整備イメージ＞



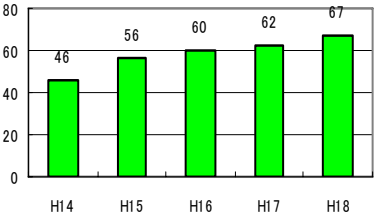


▲観察池での自然体験



▲みちのく知恵体験館

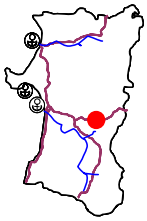
＜みちのく公園の利用者数＞（単位：万人）

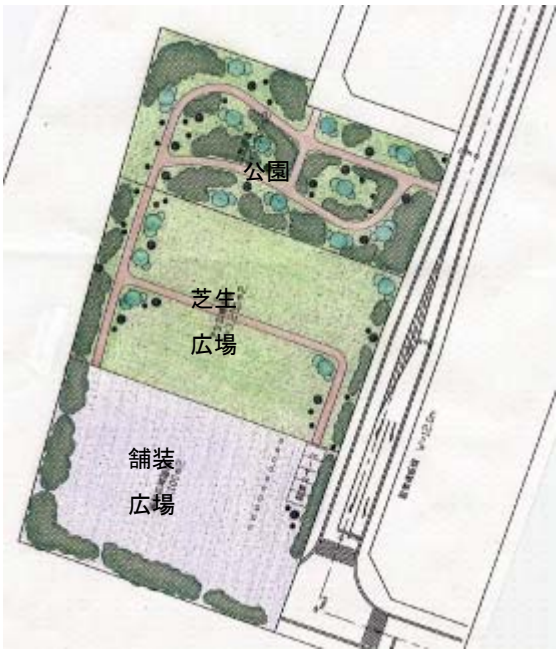


歴史的資源を生かしたまちなか整備を行い回遊性の向上を図り、観光客など来訪者を増加させ中心市街地の活性化に寄与します。

●［秋田県］まちづくり交付金「角館（かくのだて）駅周辺地区」（補助）【平成 20 年度完成予定】

・道路や公園の整備を実施し、事業の完成を目指します。





▲角館駅周辺の公園・広場・道路整備イメージ



▲駅通り



▲ポケットパーク

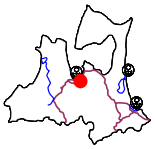
魅力ある都市づくり

Ⅰ.「コンパクトシティ」の推進

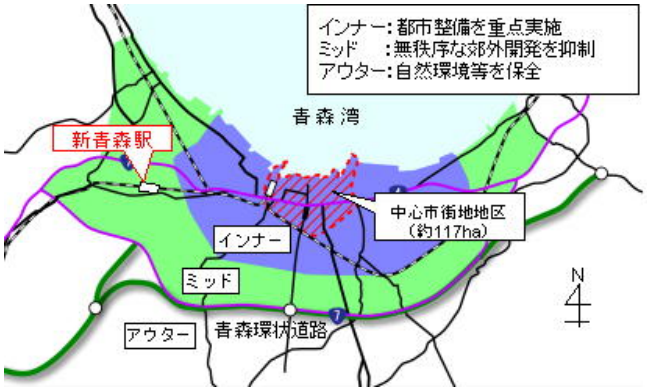
Ⅰ－１．中心市街地の活性化を図るため、交通結節点の強化、街なか居住、無電線化の推進等により魅力ある都市への再生を進めます。

拠点性･集客力の強化と各種施策との連携により､地区全体の賑わい創出に寄与します。

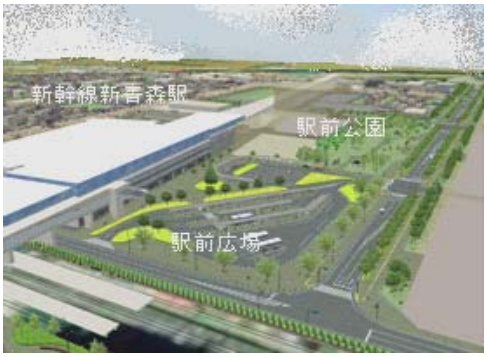
●［青森県］まちづくり交付金「新幹線新青森駅・青森駅周辺地区」（交付金）【平成 22 年度完成予定】



・道路や駅前広場等の整備を実施し、事業の進捗を図ります。



▲青森市コンパクトシティ構想



▲新幹線新青森駅周辺整備イメージ

●［福島県］まちづくり交付金「いわき駅前地区」（交付金）【平成 20 年度完成予定】

・ペデストリアンデッキ、高度情報センター等の整備を行い、事業の完成を目指します。

<ペデストリアンデッキ整備イメージ>





▲駅前広場



▲バスプール



▲多目的広場



▲自家用車乗降場

Ⅱ．都市内交通の円滑化

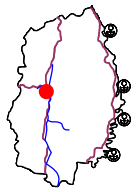
Ⅱ－１．都市圏の交通の円滑化、環境の改善を図るため、道路交通渋滞対策や交通ネットワークの強化を行います。

交通環境の改善により都市機能の向上が期待されます。

●［岩手県］一般国道４６号　盛岡西バイパス（直轄）【平成 20 年度部分供用予定】

・盛岡市飯岡新田地区の改良舗装工事を実施し、部分供用（0.5km）を目指します。





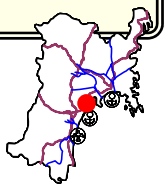


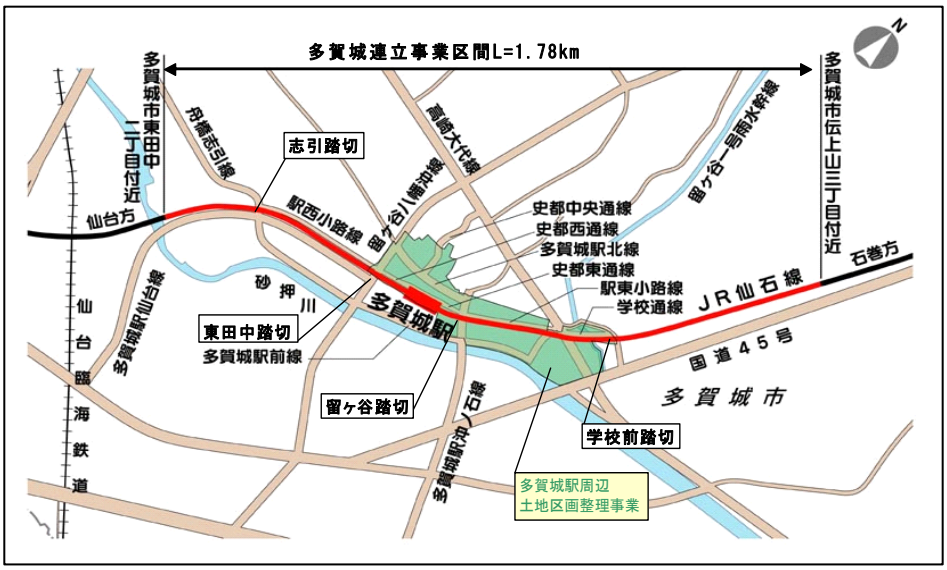
▲国道４号茶畑交差点付近の交通混雑

鉄道の高架化により、安全で円滑な交通の確保を図ります。

●［宮城県］多賀城地区連続立体交差事業（補助）【平成 23 年度完成予定】

・高架化工事の本格着工により、事業の進捗を図ります。





▼現在の東田中踏切の渋滞状況





▲高架化のイメージ

４．県別の主要事業

【青森県】津軽（つがる）ダム本体工事に着手



【完成】一般国道２８０号　与茂内橋外架替事業［補助］
【完成】土橋川床上浸水対策特別緊急事業［補助］
【完成】倉越１号急傾斜地崩壊対策事業［補助］
【完成】階上町公共下水道（一部供用）［補助］
【継続】津軽ダム建設事業［直轄］
【継続】一般国道７号　青森環状道路［直轄］
【継続】下北半島縦貫道路　一般国道２７９号　有戸北バイパス［補助］
【継続】青森港油川地区防波堤整備事業［直轄］
【継続】八戸港外港地区防波堤整備事業［直轄］
【継続】青森港本港地区橋梁改良事業［補助］
【継続】まちづくり交付金「新幹線新青森駅・青森駅周辺地区」［交付金］
【継続】都市計画道路　内環状線（石江）［補助］
【継続】石江土地区画整理事業［補助］

【岩手県】釜石（かまいし）港湾口防波堤の完成で津波被害軽減



【完成】釜石港湾口地区防波堤整備事業［直轄］
【完成】三陸縦貫自動車道　一般国道４５号　高田道路（部分暫定）［直轄］
【完成】一般国道４６号　盛岡西バイパス（部分）［直轄］
【完成】一関地区水辺プラザ整備事業［直轄］
【完成】平内海岸高潮対策事業［補助］
【継続】一関遊水地建設事業［直轄］
【継続】胆沢ダム建設事業［直轄］
【継続】三陸縦貫自動車道　一般国道４５号　宮古道路［直轄］
【継続】久慈港湾口地区防波堤整備事業［直轄］
【継続】大船渡港永浜地区多目的国際ターミナル整備事業［直轄］
【継続】下水道未普及解消クイックプロジェクト社会実験［補助］

【宮城県】桃生登米道路（桃生津山（ものうつやま）～登米（とよま））暫定供用



【完成】北上川下流直轄河川工作物関連応急対策事業（津波対策）［直轄］
【完成】仙台湾南部海岸直轄海岸保全施設整備事業　Ｓ４号ヘッドランド［直轄］
【完成】三陸縦貫自動車道　一般国道４５号　桃生登米道路（全線暫定）［直轄］
【完成】一般国道４５号　北浜自転車歩行者道整備事業［直轄］
【継続】名取川藤塚地区直轄河川改修事業［直轄］
【継続】一般国道４５号　仙台東部共同溝（原町）［直轄］
【継続】ＧＰＳ波浪計を活用した沖合波浪（津波）観測網の整備［直轄］
【継続】国営みちのく杜の湖畔公園整備事業（Ⅱ期地区みちのく自然共生園）［直轄］
【継続】仙台第３地方合同庁舎（庁舎耐震改修）［直轄］
【継続】都市計画道路　北四番丁大衡線［補助］
【継続】多賀城地区連続立体交差事業［補助］

【秋田県】雄物川上流湯沢統合堰の改築を推進



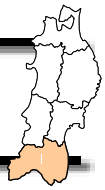
【完成】まちづくり交付金「角館駅周辺地区」［交付金］
【継続】雄物川上流湯沢統合堰改築事業［直轄］
【継続】雄物川下流割山地区新屋水門整備事業［直轄］
【継続】湯沢地区消流雪用水導入事業［直轄］
【継続】森吉山ダム建設事業［直轄］
【継続】砂子沢ダム建設事業［補助］
【継続】日本海沿岸東北自動車道　大館北～小坂（新直轄）［直轄］
【継続】一般国道１３号　神宮寺バイパス［直轄］
【継続】一般国道７号　土崎自転車歩行者道整備事業［直轄］
【継続】一般国道７号　土崎港地区電線共同溝［直轄］
【継続】秋田港外港地区防波堤整備事業［直轄］

【山形県】赤湯バイパス 全線暫定供用



【完成】最上川水系直轄砂防事業　鹿の入沢第４砂防えん堤［直轄］
【完成】新潟山形南部連絡道路　一般国道１１３号　赤湯バイパス（全線）直轄］
【完成】一般国道７号　温海地区防災「堅苔沢地区局部改良」［直轄］
【完成】一般国道７号　小波渡自転車歩行者道整備事業［直轄］
【完成】一般国道３４５号　雪寒道路事業　温海川工区［補助］
【継続】岩ヶ袋地区消流雪用水導入事業［直轄］
【継続】長井ダム建設事業［直轄］
【継続】日本海沿岸東北自動車道　温海～鶴岡［新直轄］
【継続】一般国道１１２号　飯田西交差点改良［直轄］
【継続】みなと振興交付金「酒田港歴史と文化のみなとオアシスづくり支援事業」［交付金］
【継続】まちづくり交付金「谷地地区」［交付金］

【福島県】甲子道路 全線供用



【完成】阿武隈川水系直轄火山砂防事業　荒川遊砂地［直轄］
【完成】一般国道２８９号　甲子道路（全線）［直轄］
【完成】一般国道１３号　福島西道路（全線）［直轄］
【完成】一般国道４９号　平バイパス（部分）［直轄］
【完成】一般国道６号　平鎌田交差点改良［直轄］
【完成】福島空港・あぶくま南道路　福島空港平田工区（部分）［補助］
【完成】まちづくり交付金「いわき駅前地区」［交付金］
【継続】相馬港３号ふ頭地区岸壁整備事業（耐震強化）［直轄］
【継続】下水道未普及解消クイックプロジェクト社会実験［補助］
【継続】富田東地区土地区画整理事業［補助］

参考．新潟県中越沖地震　緊急災害対策に伴う技術者派遣

<table>
<tr><th>日時等</th><th>東北地方整備局の主な支援内容</th></tr>
<tr><td>平成 19 年 7 月 16 日
【地震発生（10:13)】

〇災害対策本部の設置
〇被災状況調査
〇夜間作業支援</td><td>・新潟県沖を震源とする地震に伴い、災害対策応援本部を設置。
・国土交通省ヘリコプター「みちのく号」による被災状況調査を実施。
・照明車２台を派遣し、現地の道路復旧作業の夜間作業支援を実施。

▲上空からの調査（柏崎市）

▲照明車による夜間作業支援</td></tr>
<tr><td>7 月 17 日～7 月 19 日

〇先遣隊派遣</td><td>・以後の支援活動に必要となる現地の情報収集のため、先遣隊４名を派遣。

▲国道８号の被災状況（長岡市）
●主な調査場所
・国道８号（柏崎市～三条市）
・国道１１６号（新潟市～柏崎市）
・国道３５２号（柏崎市～刈羽村）
・市街道路、家屋等（柏崎市、刈羽村）
・川内ダム（柏崎市）
・柏崎港（柏崎市）
・ＪＲ信越本線（柏崎市）</td></tr>
<tr><td>7 月 19 日～7 月 23 日

〇被害調査チーム派遣
・土砂災害対策緊急支援チーム
・道路災害調査チーム</td><td>・土砂災害危険箇所点検のため、土砂災害対策緊急支援チーム６名を派遣。
（派遣期間：7 月 19 日～7 月 23 日）
・道路施設の迅速な被害調査のため、道路災害調査チーム４名を派遣。
（派遣期間：7 月 19 日～7 月 21 日）
●主な調査場所
【土砂災害対策緊急支援チーム】
・長岡市内

▲土砂災害危険箇所の点検
（危険度測定）
●主な調査場所
【道路災害調査チーム】
・柏崎市内（21 路線）

▲現地で被災箇所や被災状況を確認後、
図面・写真等で被災状況を整理</td></tr>
<tr><td>7 月 30 日～8 月 10 日

〇市道等災害復旧支援
・災害復旧支援チーム</td><td>・柏崎市の市道等災害復旧支援のため、災害復旧支援チーム１６名を派遣。
第１陣：８名（派遣期間：7 月 30 日～8 月 4 日）
第２陣：８名（派遣期間：8 月 5 日～8 月 10 日）

▲柏崎市内の調査状況
●主な調査場所
・柏崎市
●支援内容
・災害査定申請書の基礎資料作成など
（現地調査→図面作成→査定書作成）</td></tr>
</table>